

## 資料4 本市のまちづくりの方向性

## 4.1 上位・関連計画との関係

表 本計画とその他計画との関係

上位・関連計画	R3年度以前 (~2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)	R9年度 (2027)	R10年度 (2028)	以降
①第2次甲賀市総合計画	2017~ 基本構想 ~2028								
①(第2期基本計画) 踏まえる	第1期 基本計画	2021~ 第2期基本計画		~2024	2025~		第3期基本計画 ~2028		
②第2次甲賀市まち・ひと・しごと創生総合戦略	2020~		~2024 第2次						
③甲賀市国土利用計画 (第2次)	2015~ 第2次計画 ~2028								
④甲賀市都市計画 マスタープラン	2007~ 2017年中間見直し(必要に応じ見直し) ~2028								
甲賀市地域公共交通計画			本計画						
甲賀市地域公共交通 網形成計画 統合	2017~ ~2030								
甲賀市信楽高原鐵道沿線 地域公共交通総合連携計画	2013~	2022							
⑨近江鐵道沿線地域 踏まえる 公共交通計画	2013~ ~2030								
⑤滋賀県都市計画基本方針	整合を図る	2022~ ~2030							
⑥都市計画区域の整備、 開発及び保全の方針 (甲賀・信楽高原・土山)		2022~ ~2031							
⑦滋賀交通ビジョン	2013~ ~2030								
⑧甲賀市公共交通活性化 によるまちづくり推進計画	2013~ ~2032								
⑩甲賀市立地適正化計画	2019~ ~2028								
⑪貴生川駅周辺整備 基本構想(案)		2022~			~2026				
⑫都市再生整備総合計画 甲南駅周辺地区(第2期)		2022~			~2026				
⑬第2次甲賀市 地域福祉計画	2017~ ~2028								
⑭甲賀市第3次障がい者基本 計画第6期障がい福祉計 画・第2期障がい児福祉計 画	2021~				~2026				
	2021~		~2023		第7期				
	2021~		~2023		第3期				
⑮第2次甲賀市環境基本計 画	2019~				~2024				
⑯第11次甲賀市交通安全 計画	2021~				~2025				
⑰第2次甲賀市観光振興計 画<令和3年度見直し>	2017~ ~2028								
⑱甲賀市幼保・小中学校再 編計画(基本計画)	2015~ ~2035								
⑲甲賀市ICT推進ビジョン	2021~				~2024				

## 4.2 上位・関連計画

### 4.2.1 上位計画

#### (1) 第2次甲賀市総合計画基本構想（第2期基本計画）

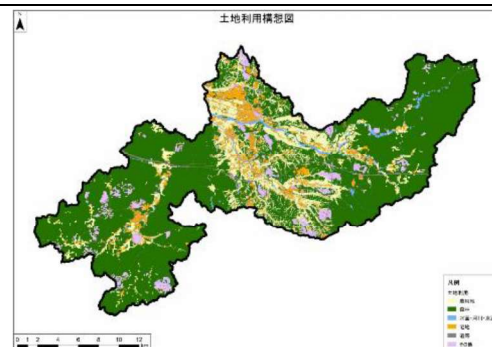
記載内容抜粋							
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>策定：平成29(2017)年6月、(第2期基本計画：令和3(2021)年度)</li> <li>計画期間：平成29(2017)～令和10(2028)年度、(第2期基本計画：令和3(2021)～令和6(2024)年度)</li> </ul>						
基本構想	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 未来像                             <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) まちや人の姿：あい甲賀 いつもの暮らしに「しあわせ」を感じるまち</li> <li>(2) 人口フレーム：令和10(2028)年に人口87,000人</li> <li>(3) 都市構造：暮らしをつなぎ、地域を未来につなぐ =多様性を活かしたネットワークづくり=                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>① 都市的土地利用と農村的土地利用の再編(見直し)、調整、調和</li> <li>② 日常生活と都市機能を支える地域拠点づくり</li> <li>③ 各拠点を結ぶ暮らしを支える交通ネットワークの確保 ⇒地域内ネットワーク、拠点間ネットワーク、広域ネットワーク</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>						
施策方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>● まちづくりの大綱に基づく方針                             <ul style="list-style-type: none"> <li>甲賀市市民憲章の理念に基づき、基本構想期間を通じたまちづくりの大きな方針として設定する大綱の中で、公共交通の充実と利便性を高めることとしている。</li> </ul> </li> </ul> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:30%; padding: 5px;">● 住み慣れた地域での暮らしを守る</td> <td style="padding: 5px;">✓ 誰もが住み慣れた地域でその人らしく生活できるよう、公共交通の充実と全世代、全対象型の地域包括支援を推進。</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">● 地域の「稼ぐ力」を高める</td> <td style="padding: 5px;">                     ✓ JR草津線の利便性を高めるとともに、産業基盤の優位性を確保するため、公共交通幹線軸への取り組みを強化。                      ✓ 広域交通ネットワークの利便性等、操業条件としての魅力を生かした企業誘致を進め、新たな雇用の場を創出。                 </td> </tr> </table>	● 住み慣れた地域での暮らしを守る	✓ 誰もが住み慣れた地域でその人らしく生活できるよう、公共交通の充実と全世代、全対象型の地域包括支援を推進。	● 地域の「稼ぐ力」を高める	✓ JR草津線の利便性を高めるとともに、産業基盤の優位性を確保するため、公共交通幹線軸への取り組みを強化。 ✓ 広域交通ネットワークの利便性等、操業条件としての魅力を生かした企業誘致を進め、新たな雇用の場を創出。		
● 住み慣れた地域での暮らしを守る	✓ 誰もが住み慣れた地域でその人らしく生活できるよう、公共交通の充実と全世代、全対象型の地域包括支援を推進。						
● 地域の「稼ぐ力」を高める	✓ JR草津線の利便性を高めるとともに、産業基盤の優位性を確保するため、公共交通幹線軸への取り組みを強化。 ✓ 広域交通ネットワークの利便性等、操業条件としての魅力を生かした企業誘致を進め、新たな雇用の場を創出。						
施策概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 目標像                             <ul style="list-style-type: none"> <li>① 広域交通ネットワークや使いやすい地域公共交通が充実している</li> <li>② 恵まれた交通アクセスを活かした土地利用によって、「人」と「モノ」の新しい流れが生まれている</li> </ul> </li> <li>● 課題                             <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 新型コロナの影響による需要構造の変化や少子化により、利用者の減少想定への対応</li> <li>✓ 高齢者等により多様化するニーズに対応し、地域公共を維持していくための抜本的な改善</li> <li>✓ リニア新幹線の開通等、社会情勢の大きな変化を見据え、市内外の移動を支える鉄道の維持・発展</li> <li>✓ 新型コロナの影響による需要構造の変化に応じた利用促進策の必要性</li> </ul> </li> </ul> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:10%; padding: 5px;">● 施策</td> <td style="width:45%; padding: 5px;">1. 地域公共交通網の再編と利便性向上</td> <td style="width:45%; padding: 5px;">2. 鉄道利用環境の改善・整備</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">概要</td> <td style="padding: 5px;">市民の日常の暮らしと経済活動を支える地域の公共交通を維持するとともに、地域が主体的に取り組む自主運行を支援するなど、多様な輸送資源を最大限に活かした公共交通の最適化に取り組む。また、地域の状況に合わせて、IGTを活用した公共交通の利便性の向上に取り組むなど、持続可能な交通網への再編を進める。</td> <td style="padding: 5px;">JR草津線の利便性向上のため、駅周辺における都市機能及び居住の誘導や、近江鉄道、信楽高原鉄道、コミュニティバス等との相互の接続など利便性を高めることで、利用者の増加につなげる。レンタサイクル等により観光地までのアクセス性を強化することで、観光客の利用を促進する。</td> </tr> </table>	● 施策	1. 地域公共交通網の再編と利便性向上	2. 鉄道利用環境の改善・整備	概要	市民の日常の暮らしと経済活動を支える地域の公共交通を維持するとともに、地域が主体的に取り組む自主運行を支援するなど、多様な輸送資源を最大限に活かした公共交通の最適化に取り組む。また、地域の状況に合わせて、IGTを活用した公共交通の利便性の向上に取り組むなど、持続可能な交通網への再編を進める。	JR草津線の利便性向上のため、駅周辺における都市機能及び居住の誘導や、近江鉄道、信楽高原鉄道、コミュニティバス等との相互の接続など利便性を高めることで、利用者の増加につなげる。レンタサイクル等により観光地までのアクセス性を強化することで、観光客の利用を促進する。
● 施策	1. 地域公共交通網の再編と利便性向上	2. 鉄道利用環境の改善・整備					
概要	市民の日常の暮らしと経済活動を支える地域の公共交通を維持するとともに、地域が主体的に取り組む自主運行を支援するなど、多様な輸送資源を最大限に活かした公共交通の最適化に取り組む。また、地域の状況に合わせて、IGTを活用した公共交通の利便性の向上に取り組むなど、持続可能な交通網への再編を進める。	JR草津線の利便性向上のため、駅周辺における都市機能及び居住の誘導や、近江鉄道、信楽高原鉄道、コミュニティバス等との相互の接続など利便性を高めることで、利用者の増加につなげる。レンタサイクル等により観光地までのアクセス性を強化することで、観光客の利用を促進する。					

## (2) 第2次甲賀市まち・ひと・しごと創生総合戦略

	記載内容抜粋
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>策定：令和2(2020)年4月1日</li> <li>計画期間：令和2(2020)～令和6(2024)年度（第2次甲賀市総合計画(第2期基本計画策定過程で見直)）</li> <li>キャプション：オール甲賀で未来につなぐ！チャレンジプロジェクト</li> </ul>
位置付け	<ul style="list-style-type: none"> <li>第2次甲賀市総合計画において、人口減少に立ち向かうための「子育て・教育」「地域経済」「介護・福祉」のテーマに基づく施策を「チャレンジプロジェクト」として計画。</li> <li>「人口ビジョン」を踏まえ、国、県の総合戦略の視点を踏まえ、「市民の力を活かす」「仕組みを変える」「人を育て、人をつくる」「いつもの暮らしを守る」「地域共生社会を築く」といった視点を設定。</li> </ul>
施策の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼び込む好循環を確立するとともに、好循環を支える「まち」に活力を取り戻すとして、10のプロジェクトを策定。</li> <li>✓ 「空きキャパシティ活用プロジェクト」：<b>JR 甲南駅周辺の円滑な交通と交通結節点機能を高めるための整備を推進、土山地域市民センターの有効活用と利便性の向上</b></li> <li>✓ 「中山間地域再生プロジェクト」：<b>コミュニティバス路線を利用しやすい運行体系に再編、公共交通利便性を高めるためのデマンド交通導入、周辺地域と連携した鉄道利便性向上</b></li> <li>✓ 「地域・世代まるごと包括ケアプロジェクト」：高齢者や障がい者の外出支援を目的とした<b>コミュニティバス無料乗車券交付</b></li> </ul>

## (3) 甲賀市国土利用計画（第2次）

	記載内容抜粋
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>策定：平成30(2018)年11月</li> <li>計画期間：平成27(2015)～平成40(2028)年度</li> </ul>
基本方針・方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>次の基本方針に基づき、市土の安全性を高め持続可能で豊かな市土を形成する土地利用をめざす。</li> <li>● <b>基本方針</b></li> <li>✓ 適切な市土管理と“しあわせ”を感じる適切な暮らしを実現する市土利用</li> <li>✓ 自然環境と打つかしい景観などを保全・再生・活用する市土利用</li> <li>✓ 安全・安心を実現する市土利用</li> </ul>
必要な措置の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共の福祉を優先し、地域を取り巻く自然や社会、経済、文化的条件などを踏まえて計画的に進めるために、各種規制・誘導措置などを通じた総合的な対策を実施する。</li> <li>● 市土の保全と安全性の確保</li> <li>・ 中枢管理機能や交通ネットワーク、エネルギー供給拠点、電力供給ネットワーク、通信ネットワークなどライフラインなどの安全性を高める</li> <li>● 持続可能な市土の管理</li> <li>・ 中山間地域においては、地域が持つ多様な機能を生かして<b>公共交通機関によるネットワークでつなぎ、補完する</b>ことで、集落としての機能を確保するとともに、子供や高齢者の移動手段を確保する。</li> <li>● 多様な主体の連携・協働による市土の適切な管理・有効活用</li> <li>・ 国や県、市による公的な役割に加え、地域住民、企業、NPO法人、他地域の住民などの多様な主体が参画することを促進し、有効利用の取り組みを推進する。</li> </ul>



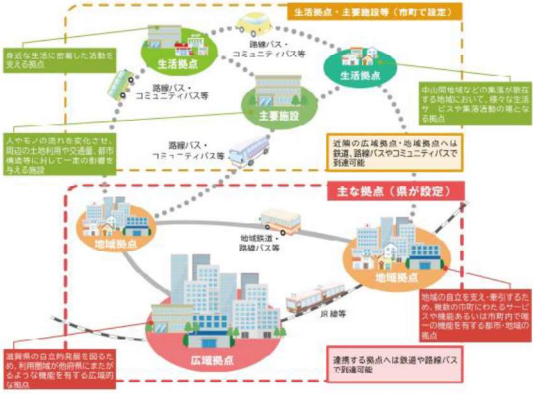

(4) 甲賀市都市計画マスタープラン

	記載内容抜粋
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 策定：平成 29(2017)年 8 月</li> <li>・ 計画期間：平成 29(2017)～平成 40(2028)年度</li> </ul>
理念と目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>都市づくりの将来像</b>：あい甲賀 いつもの暮らしに“しあわせ”を感じるまち</li> <li>● <b>目標</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 自然・歴史・伝統をみんなで守り育てる環境都市づくり</li> <li>✓ 安全で安心できる住宅都市づくり</li> <li>✓ にぎわいと魅力を感じる活力都市づくり</li> <li>✓ 広域的な交通網や伝統を生かした産業・交流都市づくり</li> <li>✓ 身近な生活圏での利便性高く、地域間交流が盛んな快適都市づくり</li> </ul> </li> </ul>
基本方針と都市構造	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>都市づくりの基本方針</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 総合的な土地利用規制・誘導方策による自然・文化環境と共生する都市づくり</li> <li>2) 集約型都市構造の都市づくり</li> <li>3) 安全で快適な都市環境づくり</li> <li>4) 広域的な交通網を生かした多様な拠点づくり</li> </ol> </li> <li>・ 新名神高速道路や国道 1 号及び <b>JR 草津線を活かし、都市拠点、交通拠点などの多様な都市核を形成</b></li> <li>5) 地域交通ネットワークなどの連携による安心で快適な都市づくり             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人々が安心して快適に暮らせる都市づくりをめざして、<b>都市核と周辺地域を公共交通網等で連携。</b></li> </ul> </li> <li>● <b>将来都市構造</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「都市軸」「都市核」「都市空間」の 3 要素で構成</li> <li>・ 「都市核」：<b>貴生川駅周辺を交通拠点に位置付け、鉄道相互やバス交通との円滑な乗り換えを図る</b></li> </ul> </li> </ul> 
分野別基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>土地利用</b>：地域の役割を踏まえた土地利用のコントロール</li> <li>・ 「立地適正化計画」で都市の集約化を図り、<b>各拠点を結ぶ交通ネットワークによる集約型都市構造実現</b></li> <li>● <b>道路・交通体系整備</b>：多様性を活かした交通ネットワークの構築             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市内の各拠点を多様な交通手段で移動できるよう交通の連携強化を図り交流の充実をめざす                 <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ JR 草津線複線化の早期実現、各鉄道の通勤・通学等の輸送力強化、JR・近江鉄道・信楽高原鉄道との連携強化による鉄道利便性向上</li> <li>➢ 貴生川駅周辺における交通結節機能の強化、JR 甲南駅のユニバーサルデザイン化を図り、バス交通網などの公共交通の利便性向上等、鉄道駅を中心とする公共交通などの利便性向上</li> <li>➢ 貴生川駅周辺を中心とする公共交通ネットワークの強化、<b>都市拠点と市内各地域拠点を連絡するコミュニティバスやデマンドバスの充実による都市内を結ぶ公共交通の利便性向上</b></li> <li>➢ <b>隣接する都市と連絡する鉄道などの公共交通の強化</b>による地域連携を図る公共交通利便性向上</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>● <b>市街地整備</b>：拠点機能の向上と安定した定住人口確保             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ JR 貴生川駅・甲賀駅・甲南駅周辺における交通結節機能の強化を図り、<b>地域の交通拠点としてのまちづくり</b></li> </ul> </li> <li>● <b>都市防災</b>：大地震・局地的豪雨などの自然災害への対応強化             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 災害時にも分断されることが少ない道路、鉄道のネットワークの連携強化による<b>緊急輸送道路網の構築</b></li> </ul> </li> <li>● <b>参加と協働のまちづくり</b>：市民が参加しやすい仕組みづくりと地域コミュニティの強化             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域づくりのあらゆる場面で、市民、企業、事業所、議会及び行政が、連携・協力し、共に歩む対話による<b>協働によるまちづくりの推進</b></li> </ul> </li> </ul> 

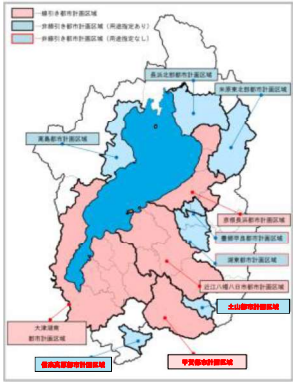


## 4.2.2 関連計画

## (1) 滋賀県都市計画基本方針

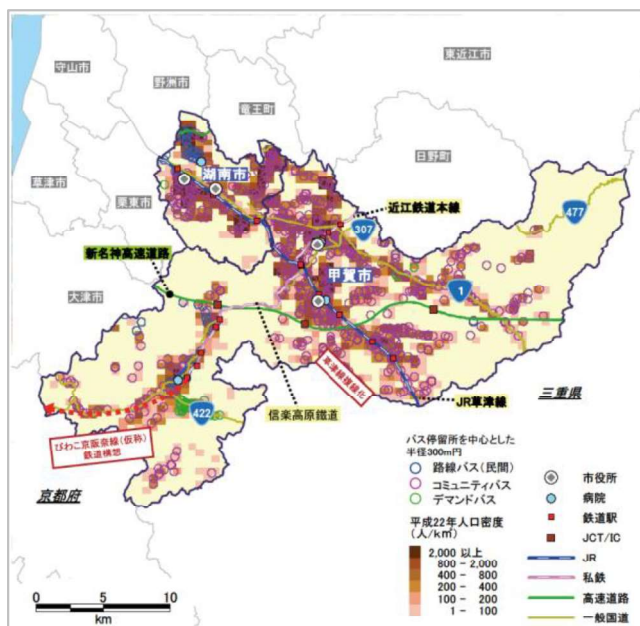
	記載内容抜粋
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>策定：令和4(2022)年3月</li> <li>計画期間：令和5(2023)～令和24(2042)年度</li> <li>県の都市計画のあり方を示すものであり、本計画を踏まえて甲賀市都市計画マスタープランを策定。</li> </ul>
都市の将来像	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>都市の将来像</b></li> <li>・ 住む、働く、憩うといった機能が集積した多様な拠点において、多様な人々との出会い・交流を通じた豊かな生活を実現できる社会</li> <li>・ 成長性のある企業立地の促進と、先端技術の活用や新たなサービス・製品の普及による便利で快適に生活できる社会</li> <li>・ 拠点を結ぶ公共交通網及び拠点までの移動手段により安心して移動できる社会</li> <li>・ 自然災害に対応した都市で安全に暮らせる社会</li> <li>・ 歴史・文化・風土に根差した地域の資源が保全、継承、活用され自然共生する文化が育まれる社会</li> </ul>
目指すべきまちづくりの方向性	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 職住近接のゆとりある生活圏を構築するための魅力ある多様な拠点の形成 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 同一都市圏を形成する市町の <b>広域的な連携を促進し、市町間・拠点間を結ぶ公共交通サービス</b>の展開</li> <li>・ <b>様々なサービス機能の誘導・集積と公共交通ネットワークによる連携</b></li> </ul> </li> <li>② 滋賀の成長を支える多様な産業の創出や利便性の向上に資するまちづくり</li> <li>③ 人や物の円滑な移動や交流を促進する質の高い交通・道路ネットワークの形成 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自家用車に過度に依存しない人の移動を確保する観点から、輸送効率や環境負荷の面で優れ、誰もが利用できる <b>人流のインフラとして公共交通の維持・充実</b></li> <li>・ 県、市町、交通事業者の役割分担の明確化のもと、<b>公共交通の利便性向上及び利用促進</b></li> <li>・ 人流は公共交通へのシフトを図りつつ、住居や施設等を結び歩行者、自転車、公共交通および自動車の通行空間である基本的なインフラの役割を果たす道路の整備</li> </ul> </li> <li>④ 災害リスクを低減し拠点間の広域的な連携による相互支援を可能とする安全なまちづくり</li> <li>⑤ 滋賀らしい歴史・文化資源、自然資源、景観を生かし継承するまちづくり</li> </ol> 
実現に向けた取り組み（公共交通関連）	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>滋賀県における将来都市像の考え方：地域に応じた階層的かつネットワーク化した拠点と公共交通を設定</b></li> <li>・ 拠点：広域拠点、地域拠点、生活拠点</li> <li>● <b>公共交通軸等の設定</b></li> <li>・ 公共交通軸：他府県にまたがる広域的移動手段(JR線等)、主な拠点を結ぶ基幹交通機関(地域鉄道、行政区域をまたいで運行される幹線系路線バスなど)</li> <li>・ 公共交通網：身近な生活拠点と主な拠点を結ぶ交通機関(路線バス、コミュニティバス等)、大学や病院など主要施設と生活拠点や主な拠点を結ぶ交通機関(コミュニティバス)、拠点外の集落から拠点までを結ぶ交通機関(デマンド型交通等)</li> </ul> 

(2) 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針（甲賀・信楽高原・土山）

記載内容抜粋	
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>策定：令和3(2021)年5月(変更)</li> <li>目標年次：平成22(2010)年基準・概ね20年後を展望、今後概ね10年後の都市計画の基本方向を設定</li> </ul>
都市づくりの基本理念	<p>■ <b>基本理念</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>都市機能の集約化の促進</li> <li>交通体系の一体的整備によるまちづくり</li> <li>都市整備による活力あるまちづくり</li> <li>地域資源を生かしたまちづくり</li> <li>自然環境と調和したまちづくり</li> <li>安全・安心なまちづくり</li> </ul> 
主要な都市計画の方針	<p>■ <b>都市施設の整備に関する方針</b></p> <p>➤ <b>交通施設の整備の方針</b></p> <p>① <b>甲賀都市計画</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 人にやさしい交通ネットワークの形成</li> <li>✓ 利用しやすい公共交通体系の確率</li> <li>・ <b>鉄道</b>：JR草津線は複線化の早期実現など輸送力の強化、通勤・通学時の時間の短縮を図る。また、<b>近江鉄道、信楽高原鐵道についても、沿線の市街化の動向、JRとの連携の強化を図り利便性の向上を図る</b>とともに、びわこ京阪奈線(仮称)鉄道構想を推進する。</li> <li>・ <b>駐車場・駐輪場</b>：鉄道駅の周辺や中心商業地などに駐車場の整備を推進し、<b>自動車から鉄道への乗り換えを行うパークアンドライドを促進</b>する。</li> </ul> <p>② <b>信楽高原都市計画</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 人にやさしい交通ネットワークの形成</li> <li>✓ 公共交通機関の利便性の向上</li> <li>・ <b>鉄道</b>：<b>信楽高原鐵道や市コミュニティバス等公共交通機関の維持・利便性向上</b>のための検討を進める。びわこ京阪奈線(仮称)鉄道構想を推進する。</li> <li>・ <b>駐車場・駐輪場</b>：公共交通機関利用の支援、地域住民の利便性向上及び観光の振興につながる<b>駐車場、駐輪場の整備</b>を進める。</li> </ul> <p>③ <b>土山都市計画</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 公共交通サービスの利便性の向上</li> <li>・ <b>バス</b>：高齢者をはじめ誰もが日常生活において利用できる<b>「甲賀市コミュニティバス」の充実</b>を図る。<b>JR貴生川駅との連絡を強化</b>し、住民の鉄道利用を促進する。</li> </ul>

## (3) 滋賀交通ビジョン

記載内容抜粋									
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>策定：平成 25(2013)年 12 月</li> <li>計画期間：平成 25(2013)～令和 12(2030)年度</li> </ul>								
交通の将来像	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>地域交通の将来像</b></li> <li>・ 広域交通の将来像：近畿、中部、北陸の「要」となって3圏域の広域的発展を牽引する交通</li> <li>・ 地域交通の将来像：地域が支え、地域を支える、県全域の「ひと、暮らし、まちを結ぶ」交通</li> <li>● <b>滋賀交通ビジョンの基本理念</b></li> <li>・ 滋賀と周辺圏域の広域的発展と県民の暮らしを支える交通</li> </ul>								
地域交通政策の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 滋賀の交通の方向性を、広域交通政策と地域公共交通政策に分類</li> </ul>								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">地域公共交通政策の方向性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 公共交通を主体とした「エコ交通」の推進</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「エコ交通ネットワーク」の形成</li> <li>・ 自転車を利用しやすい環境づくり</li> <li>・ 公共交通の利用促進と県民の意識改革</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>② 社会環境の変化に対応した持続可能な交通体系づくり</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県全域における交通空白域の改善</li> <li>・ バス利用を促進する環境整備</li> <li>・ 関係者の役割分担による公共交通の維持</li> <li>・ 県民や地域コミュニティとの協働で作る地域交通体系</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>③ まちづくりと一体となった交通の整備</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域が主役の交通まちづくり</li> <li>・ 人と人とのふれあいを生み出す公共交通</li> <li>・ 安全・安心な交通網の整備</li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table>	地域公共交通政策の方向性		① 公共交通を主体とした「エコ交通」の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「エコ交通ネットワーク」の形成</li> <li>・ 自転車を利用しやすい環境づくり</li> <li>・ 公共交通の利用促進と県民の意識改革</li> </ul>	② 社会環境の変化に対応した持続可能な交通体系づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県全域における交通空白域の改善</li> <li>・ バス利用を促進する環境整備</li> <li>・ 関係者の役割分担による公共交通の維持</li> <li>・ 県民や地域コミュニティとの協働で作る地域交通体系</li> </ul>	③ まちづくりと一体となった交通の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域が主役の交通まちづくり</li> <li>・ 人と人とのふれあいを生み出す公共交通</li> <li>・ 安全・安心な交通網の整備</li> </ul>
	地域公共交通政策の方向性								
① 公共交通を主体とした「エコ交通」の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「エコ交通ネットワーク」の形成</li> <li>・ 自転車を利用しやすい環境づくり</li> <li>・ 公共交通の利用促進と県民の意識改革</li> </ul>								
② 社会環境の変化に対応した持続可能な交通体系づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県全域における交通空白域の改善</li> <li>・ バス利用を促進する環境整備</li> <li>・ 関係者の役割分担による公共交通の維持</li> <li>・ 県民や地域コミュニティとの協働で作る地域交通体系</li> </ul>								
③ まちづくりと一体となった交通の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域が主役の交通まちづくり</li> <li>・ 人と人とのふれあいを生み出す公共交通</li> <li>・ 安全・安心な交通網の整備</li> </ul>								
地域別施策・甲賀地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>目指すべき交通の姿と施策</b></li> <li>➢ <b>草津線の段階的複線化と信楽高原鐵道の安定経営</b></li> <li>・ 地元利用及び観光利用による<b>草津線、近江鐵道、信楽高原鐵道の需要創出と鐵道を活かした地域のまちづくり</b></li> <li>・ 交通機関同士の<b>乗継や接続の向上、ダイヤ改善</b>の促進</li> <li>・ 交通施設の<b>ユニバーサルデザイン化</b>の促進</li> <li>・ びわこ京阪奈線(仮称)鐵道構想の推進</li> <li>➢ <b>公共交通を主体とした「エコ交通」の推進</b></li> <li>・ 自家用車利用から<b>公共交通利用への転換</b>の促進</li> <li>・ <b>バスと鐵道の乗継利便性向上</b>の促進</li> <li>➢ <b>放射状ネットワークによる近畿中心部、中部方面とのアクセス強化</b></li> <li>・ 新名神高速道路の整備促進</li> </ul>								



(4)甲賀市公共交通活性化によるまちづくり推進計画

	記載内容抜粋	
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 策定：平成 25(2013)年 12 月</li> <li>・ 計画期間：平成 25(2013)～平成 44(2032)年度</li> </ul>	
基本理念	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 目的                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 持続可能なまちづくりの実現を根本から支える公共交通機関の充実及び公共交通機関を有機的に活用することによって推進されるものについて、具体施策を検討する。</li> </ul> </li> <li>● 基本理念                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 誰もが移動しやすい公共交通体系と連携した持続可能なまちづくりを実現する</li> </ul> </li> </ul>	
基本方針	基本方針 1：定住促進…何世代もの人々が末永く安心して暮らせる環境の形成 基本方針 2：交流促進…人・モノの交流による安定した地域経済基盤の確立 基本方針 3：公共交通利用促進：公共交通を使いやすいまちづくりと公共交通を守り育てる意識の醸成	
施策 (地域公共交通関連)	■ 基本方針と施策	
	基本方針	施策
	① 定住促進に向けた施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 使いやすい公共交通機関の整備</li> <li>・ 公共交通を守り育てる意識・過度の自動車利用を抑制する意識の醸成</li> <li>・ 駅周辺におけるにぎわい空間の創出(水口地域、甲南・甲賀地域)</li> <li>・ 駅周辺における居住環境の整備(水口地域、甲南・甲賀地域)</li> </ul>
	② 交流促進に向けた施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域特性を生かした甲賀市全体の観光魅力度の向上</li> <li>・ 鉄道および駅の観光資源化(信楽地域、水口地域、甲賀・甲南地域)</li> <li>・ 高速路線バスを利用した来訪者の利便性向上(土山・信楽地域)</li> <li>・ 公共交通機関を利用した周遊観光・滞在型観光の推進</li> </ul>
③ 公共交通利用促進に向けた施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 使いやすい公共交通機関の整備</li> <li>・ 公共交通を守り育てる意識・過度の自動車利用を抑制する意識の醸成</li> <li>・ 駅周辺におけるにぎわい空間の創出(水口地域、甲南・甲賀地域)</li> <li>・ 駅周辺における居住環境の整備(水口地域、甲南・甲賀地域)</li> <li>・ 歩きたくなる街並みづくりの推進(信楽地域)</li> </ul>	



## (5) 近江鉄道沿線地域公共交通計画

記載内容抜粋													
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 策定：令和3(2021)年10月</li> <li>・ 計画期間：令和3(2021)～令和15(2033)年度</li> <li>・ 計画区域：東近江市、彦根市、近江八幡市、甲賀市、米原市、日野町、愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町</li> </ul>												
将来像	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 沿線地域の将来像 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自然環境と歴史・文化的な資源に恵まれた生産力豊かな地域をコロナ禍後の新しい社会においても、みんなできに築いていく</li> </ul> </li> <li>● 地域公共交通の姿 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県東部地域の豊かな暮らしを支え、人々の交流や出会いを生み出す、近江鉄道線を軸とする持続可能な地域公共交通ネットワーク</li> </ul> </li> </ul>												
基本方針と施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 基本方針と施策</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基本方針</th> <th>施策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基本方針1：近江鉄道を再生・活性化する</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 近江鉄道線の安全・安定な輸送を確保する</li> <li>・ 「公有民営」方式の上下分離により近江鉄道線を維持する</li> <li>・ 通勤・通学利用者数の維持・増加を図る</li> <li>・ 運行内容の充実・改善を図る</li> <li>・ その他のサービス改善により利便性の向上を図る</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>基本方針2：近江鉄道線の二次交通を充実する</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用しやすい二次交通ネットワークを構築する</li> <li>・ 二次交通の利便性を向上する</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>基本方針3：近江鉄道沿線のまちづくりを進め、地域を活性化する</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 沿線地域のまちづくりと連携する</li> <li>・ 沿線地域の活性化施策と連携する</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>基本方針4：関係者が連携・協働して地域公共交通の利用を促進する</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域公共交通利用に対する意識を醸成する</li> <li>・ 近江鉄道線への愛着を育みファンを増やす</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>基本方針5：ICT等の活用により多様なニーズに対応する</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公共交通や移動に関するデータを把握・分析・共有する</li> <li>・ 公共交通に関する新技術に対応する</li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table>	基本方針	施策	基本方針1：近江鉄道を再生・活性化する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 近江鉄道線の安全・安定な輸送を確保する</li> <li>・ 「公有民営」方式の上下分離により近江鉄道線を維持する</li> <li>・ 通勤・通学利用者数の維持・増加を図る</li> <li>・ 運行内容の充実・改善を図る</li> <li>・ その他のサービス改善により利便性の向上を図る</li> </ul>	基本方針2：近江鉄道線の二次交通を充実する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用しやすい二次交通ネットワークを構築する</li> <li>・ 二次交通の利便性を向上する</li> </ul>	基本方針3：近江鉄道沿線のまちづくりを進め、地域を活性化する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 沿線地域のまちづくりと連携する</li> <li>・ 沿線地域の活性化施策と連携する</li> </ul>	基本方針4：関係者が連携・協働して地域公共交通の利用を促進する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域公共交通利用に対する意識を醸成する</li> <li>・ 近江鉄道線への愛着を育みファンを増やす</li> </ul>	基本方針5：ICT等の活用により多様なニーズに対応する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公共交通や移動に関するデータを把握・分析・共有する</li> <li>・ 公共交通に関する新技術に対応する</li> </ul>
	基本方針	施策											
	基本方針1：近江鉄道を再生・活性化する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 近江鉄道線の安全・安定な輸送を確保する</li> <li>・ 「公有民営」方式の上下分離により近江鉄道線を維持する</li> <li>・ 通勤・通学利用者数の維持・増加を図る</li> <li>・ 運行内容の充実・改善を図る</li> <li>・ その他のサービス改善により利便性の向上を図る</li> </ul>											
	基本方針2：近江鉄道線の二次交通を充実する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用しやすい二次交通ネットワークを構築する</li> <li>・ 二次交通の利便性を向上する</li> </ul>											
	基本方針3：近江鉄道沿線のまちづくりを進め、地域を活性化する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 沿線地域のまちづくりと連携する</li> <li>・ 沿線地域の活性化施策と連携する</li> </ul>											
	基本方針4：関係者が連携・協働して地域公共交通の利用を促進する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域公共交通利用に対する意識を醸成する</li> <li>・ 近江鉄道線への愛着を育みファンを増やす</li> </ul>											
基本方針5：ICT等の活用により多様なニーズに対応する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公共交通や移動に関するデータを把握・分析・共有する</li> <li>・ 公共交通に関する新技術に対応する</li> </ul>												

(6) 甲賀市立地適正化計画

記載内容抜粋																						
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 策定：平成 31(2019)年 3 月</li> <li>・ 計画期間：平成 31(2019)年～令和 40(2028)年度</li> </ul>																					
将来都市像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各地域の中心地及び貴生川駅周辺に都市機能を集積することで拠点を形成し、その周辺に居住を誘導することで都市機能のサービス水準の維持を図る。</li> <li>・ 拠点と拠点、拠点と市街を結ぶ公共交通アクセスを確保することで、集約型都市構造の実現を目指す。</li> </ul>																					
目指すべき都市の骨格構造	<p>● 目指すべき都市の骨格構造</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「都市拠点」「交通拠点」「地域拠点」の3種類の拠点を設けることにより集約型都市構造を構築するまちづくりを進める。</li> </ul>																					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>位置付け</th> <th>地域</th> <th>役割</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>都市拠点</td> <td>水口地域</td> <td>市の中核を担う拠点。市役所等の業務機能や大型商業施設等の全体的な都市機能の立地を誘導し、市全体の利便性向上を図る。</td> </tr> <tr> <td>交通拠点</td> <td>貴生川駅周辺</td> <td>市の玄関口としての役割を担う交通拠点とする。交通結節点としての機能と高度都市機能を併せ持った拠点形成を図る。</td> </tr> <tr> <td>地域拠点</td> <td>土山地域、甲賀地域 甲南地域、信楽地域 貴生川駅周辺</td> <td>周辺住民の日常生活を支える拠点。これまで営んできた日常生活に不便が生じないように、既存の商店や診療所等の都市機能の維持を図る。</td> </tr> <tr> <td>公共交通軸</td> <td>—</td> <td>自家用車での移動が困難になった場合でも、生活圏の移動に不便が生じないように、【JR 草津線、近江鉄道本線、信楽高原鐵道、あいくるバス 土山本線】を甲賀市の幹線的な公共交通として、サービス水準の維持・向上を図る。</td> </tr> <tr> <td>生活ゾーン</td> <td>—</td> <td>都市機能・公共交通サービスのサービス水準を維持するために、その周辺に居住を誘導することで人口の維持を図る。</td> </tr> <tr> <td>生活圏</td> <td>—</td> <td>これまで形成してきた、市内外の地域との相互連携による生活圏の維持を図る。</td> </tr> </tbody> </table>	位置付け	地域	役割	都市拠点	水口地域	市の中核を担う拠点。市役所等の業務機能や大型商業施設等の全体的な都市機能の立地を誘導し、市全体の利便性向上を図る。	交通拠点	貴生川駅周辺	市の玄関口としての役割を担う交通拠点とする。交通結節点としての機能と高度都市機能を併せ持った拠点形成を図る。	地域拠点	土山地域、甲賀地域 甲南地域、信楽地域 貴生川駅周辺	周辺住民の日常生活を支える拠点。これまで営んできた日常生活に不便が生じないように、既存の商店や診療所等の都市機能の維持を図る。	公共交通軸	—	自家用車での移動が困難になった場合でも、生活圏の移動に不便が生じないように、【JR 草津線、近江鉄道本線、信楽高原鐵道、あいくるバス 土山本線】を甲賀市の幹線的な公共交通として、サービス水準の維持・向上を図る。	生活ゾーン	—	都市機能・公共交通サービスのサービス水準を維持するために、その周辺に居住を誘導することで人口の維持を図る。	生活圏	—	これまで形成してきた、市内外の地域との相互連携による生活圏の維持を図る。
	位置付け	地域	役割																			
	都市拠点	水口地域	市の中核を担う拠点。市役所等の業務機能や大型商業施設等の全体的な都市機能の立地を誘導し、市全体の利便性向上を図る。																			
	交通拠点	貴生川駅周辺	市の玄関口としての役割を担う交通拠点とする。交通結節点としての機能と高度都市機能を併せ持った拠点形成を図る。																			
	地域拠点	土山地域、甲賀地域 甲南地域、信楽地域 貴生川駅周辺	周辺住民の日常生活を支える拠点。これまで営んできた日常生活に不便が生じないように、既存の商店や診療所等の都市機能の維持を図る。																			
	公共交通軸	—	自家用車での移動が困難になった場合でも、生活圏の移動に不便が生じないように、【JR 草津線、近江鉄道本線、信楽高原鐵道、あいくるバス 土山本線】を甲賀市の幹線的な公共交通として、サービス水準の維持・向上を図る。																			
	生活ゾーン	—	都市機能・公共交通サービスのサービス水準を維持するために、その周辺に居住を誘導することで人口の維持を図る。																			
生活圏	—	これまで形成してきた、市内外の地域との相互連携による生活圏の維持を図る。																				
● 誘導区域及び誘導施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人口減少の中にあっても人口密度を維持することにより、生活サービスやコミュニティが持続的に確保されるよう居住誘導区域を設定する。</li> <li>・ 居住誘導区域内外にわたり良好な居住環境を確保し、地域における公共投資や公共公益施設の維持運営などの都市経営が効率的に行われるよう定める。</li> </ul>																					



(9) 第2次甲賀市地域福祉計画<令和3年度見直し版>

記載内容抜粋	
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 策定：平成 29(2017)年 7 月策定、令和 3(2021)年 10 月見直し</li> <li>・ 計画期間：平成 29(2017)年～令和 10(2028)年度</li> <li>・ 基本理念：人々がつながり 暮らしの中で感じる幸せを 未来へつなぐまち あい甲賀</li> </ul>
基本方針	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域で支えるしくみづくり</li> <li>2. 地域福祉を支える人づくり</li> <li>3. 適切な支援へつなげる体制づくり</li> <li>4. 健康で安心な生活ができる暮らしづくり</li> </ol>
施策 (地域公共交通関連)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 基本方針 3. 適切な支援へつなげる体制づくり                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 包括的相談支援事業：1 事業所のみでは対応が難しい地域生活課題については、<b>他の支援関係機関と連携を図りながら課題解決に向けた支援を行う。</b></li> <li>・ 関係機関等との連携強化の推進：誰もが身近な地域で安心して暮らしていけるよう、<b>関係機関等との連携を強化し、支援の充実を図る。</b></li> </ul> </li> <li>● 基本方針 4. 健康で安心な生活ができる暮らしづくり                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ユニバーサルデザインに基づくまちづくり：高齢者や障がいのある人、子育てをする人などが外出しやすい環境となるよう、<b>ユニバーサルデザインの理念の普及啓発や公共施設等の整備を推進</b>する。</li> <li>・ 移動支援の充実：市民の日常生活に欠かすことができない<b>移動について、地域とともに考え、特に高齢者や障がいのある人に対する支援の充実を図る。</b></li> </ul> </li> </ul>

(10) 甲賀市第3次障がい者基本計画 第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画

記載内容抜粋	
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 策定：令和 3(2021)年 3 月策定</li> <li>・ 計画期間：令和 3(2021)年～令和 8(2027)年度</li> <li>・ 計画の理念：みんなでつながり 支えあう 安心・交流・生きがいと幸せを感じるまち あい甲賀</li> </ul>
施策 (地域公共交通関連)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 基本方針 6. 安全・安心な暮らしができるまちづくりの推進                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 福祉のまちづくりの推進：<b>ユニバーサルデザインの推進に向けた啓発、高齢者の利用に配慮した施設・設備の整備・改善、コミュニティバスの利用促進。</b></li> <li>・ 安全な生活の支援：<b>災害時における避難行動支援、交通安全対策の推進、地域情報通信基盤の活用</b></li> </ul> </li> </ul>



## (1 1) 第2次甲賀市環境基本計画【改訂版】

	記載内容抜粋
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>策定：平成 29(2017)年度策定</li> <li>計画期間：平成 29(2017)年～令和 6(2024)年度</li> <li>目指すべき甲賀市の環境像：豊かな自然と潤いのある暮らしを未来につなぐ 美しい甲賀</li> </ul>
基本方針	<ol style="list-style-type: none"> <li>豊かな自然と共に快適に生活できるまち</li> <li>地球環境への優しさが溢れるまち</li> <li>誰もが良い環境を意識した行動ができるまち</li> </ol>
取り組み (地域公共交通関連)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>基本方針 2. 地球環境への優しさがあふれるまち</b></li> <li>公共交通の利用促進：ダイヤ改正などによる<b>コミュニティバス利便性の向上、公共交通フリー乗車券の販売、駅前レンタサイクルの整備、駅前駐車場・駐輪場の整備による利用環境の改善</b>とともに、<b>JR 草津線複線化に向けた取り組みなどを進め</b>、公共交通の利用促進に努める。</li> <li>環境教育・学習の推進：<b>学校教育において子どもたちが環境を学ぶ機会を拡大するとともに、子どもを通じた保護者への啓発を進め、市民の環境意識を高める。</b></li> </ul>

## (1 2) 第1次甲賀市交通安全計画

	記載内容抜粋
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>策定：令和 3(2021)年度策定</li> <li>計画期間：令和 3(2021)年～令和 7(2025)年度</li> <li>基本理念：「交通事故のない安全・安心なまち甲賀市」の実現を目指して</li> </ul>
考え方・目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>道路交通事故のない甲賀市を目指して（目標：24 時間死者数年間 3 人以下、交通事故重症者数年間 12 人以下）</li> <li>鉄道交通事故のない甲賀市を目指して（目標：鉄道事故ゼロ）</li> <li>踏切事故のない甲賀市を目指して（目標：踏切事故ゼロ）</li> </ol>
取り組み (地域公共交通関連)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>考え方 1. 道路交通事故のない甲賀市を目指して</b></li> <li>1. 道路交通環境の整備</li> <li>高齢者、障がい者等の安全に資する通行空間等の整備：駅、公共施設、福祉施設、病院などの周辺を中心にユニバーサルデザイン整備、横断歩道やバス停付近の駐車違反等解消</li> <li>公共交通機関利用の促進と環境整備：<b>鉄道やコミュニティバス等の利用促進のためのだれもが利用しやすい環境整備、バス停留所における安全性確保、市民や市を訪れる方が積極的に利用するための啓発</b></li> <li>車両の安全性の確保：コミュニティバス等の安全管理意識の向上を図り<b>安全な車両の導入や安全点検の徹底推進</b></li> <li>● <b>考え方 2. 鉄道交通事故のない甲賀市を目指して</b></li> <li>鉄道交通環境の整備：鉄道施設の維持管理及び補修、駅舎などの耐震性の強化などについて鉄道事業者と緊密に連携した安全対策、駅施設等について段差の解消や転落防止設備などによる<b>バリアフリー化やユニバーサルデザインの推進</b></li> <li>安全に関する知識の普及：関係機関・団体と協力した交通安全運動などを通じた広報活動、ホームからの転落事故防止などの啓発活動</li> </ul>

資料4 本市のまちづくりの方向性

(13) 第2次甲賀市観光振興計画

記載内容抜粋	
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 策定：平成 29(2017)年 8 月策定、令和 3(2021)年 9 月見直し</li> <li>・ 計画期間：平成 29(2017)年度～令和 10(2028)年度</li> <li>・ 基本方針：方針 1「忍びの里の 秘めたる宝 探す甲賀の まちづくり」、方針 2「歴史と文化 伝え育み 歩む甲賀の おもてなし」、方針 3「光る宝に 出会える旅に 増やす甲賀の 愛好家」</li> </ul>
基本戦略・施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>魅力向上戦略</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「観光地の魅力向上」「市民と連携した資源開発」「効果的な PR の推進」</li> </ul> </li> <li>● <b>誘客促進戦略</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「観光ビジネスとの連携」「誘客事業・イベントの開催」「戦略的マーケティング」「新たな観光の形に対応した誘客促進」</li> </ul> </li> <li>● <b>地域活性化戦略</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「市民意識の向上」「市民・事業者との協働」「広域連携」「(仮称)甲賀市版観光 DMO の設立」</li> </ul> </li> </ul>
取り組み(地域公共交通関連)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>誘客促進戦略</b></li> <li>① 公共交通と連携した観光振興 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鉄道やバス等の公共交通を活性化するため、<b>沿線の観光開発によって観光旅客輸送を増やす取り組み</b>を行う。</li> <li>・ 公共交通と連携した観光ルートの設定や観光商品の開発に取り組むとともに、ニーズに応じた<b>観光拠点への 2 次交通の整備</b>を図る。</li> </ul> </li> </ul>

(14) 甲賀市幼保・小中学校再編計画(基本計画)

記載内容抜粋	
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 策定：平成 27(2015)年 3 月策定</li> <li>・ 再編計画の期間：平成 27(2015)年度～平成 36(2035)年度</li> <li>・ 計画の体系：「教育大綱」(平成 29(2017)年度～計画期間なし)、「教育振興基本計画」(第 3 期：平成 31(2019)年度から 5 年間、平成 35(2023)年度、第 4 期：平成 36(2024)年度～平成 40(2028)年度の 5 年間))</li> <li>・ 教育大綱教育方針：たくましい心身と郷土への誇りを持ち、未来を切り拓く人を育てる</li> <li>・ 教育目標：目標 1「ともに学び ともに育つ」、目標 2「読書と体験を通して豊かな心を育む」、目標 3「魅力ある地域の人、モノを活かす」</li> </ul>
考え方・目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>基本的な考え方</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもたちにより良い保育・教育を提供することを最優先</li> <li>・ 子どもたちの「生きる力」を育む保育・教育環境を着実に整備するために、保護者や地域の皆様の参画を得ながら取り組む。</li> </ul> </li> <li>● <b>目指す方向と目的</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 再編後に出現する確かな学力の補償をはじめとする「子供たちの確かな育ち」</li> </ul> </li> </ul>
取り組み(地域公共交通関連)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ <b>小学校・中学校の再編計画の推進</b></li> <li>● <b>望ましい小学校・中学校の実現に向けて考慮すべきこと</b></li> <li>4) <b>安全な通学手段の確保</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小学校は 4km、中学校は 6km 以内であればそれぞれ徒歩・自転車での通学を基本とする。</li> <li>・ それ以上の距離がある場合や地理的条件による徒歩・自転車通学が困難な場合、登下校時に何らかの危険が生じると予想される地域は、公共交通機関利用を認め、通学費の助成等保護者の負担軽減に努める。</li> <li>・ 再編により通学距離が延びる地域については、スクールバスの運行も視野に地域と協議の上安全な通学手段を確保</li> </ul> </li> </ul>

## (15) 甲賀市 ICT 推進ビジョン

	記載内容抜粋
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 策定：平成 27(2015)年 3 月策定</li> <li>・ 再編計画の期間：平成 27(2015)年度～平成 36(2035)年度</li> <li>・ 計画の体系：「教育大綱」（平成 29(2017)年度～計画期間なし）、「教育振興基本計画」（第 3 期：平成 31(2019) 年度から 5 年間、平成 35(2023)年度、第 4 期：平成 36(2024)年度～平成 40(2028)年度の 5 年間))</li> <li>・ 教育大綱教育方針：たくましい心身と郷土への誇りを持ち、未来を切り拓く人を育てる</li> <li>・ 教育目標：目標 1「ともに学び ともに育つ」、目標 2「読書と体験を通して豊かな心を育む」、目標 3「魅力ある地域の人、モノを活かす」</li> </ul>
考え方・目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>基本的な考え方</b></li> <li>・ 子どもたちにより良い保育・教育を提供することを最優先</li> <li>・ 子どもたちの「生きる力」を育む保育・教育環境を着実に整備するために、保護者や地域の皆様の参画を得ながら取り組む。</li> <li>● <b>目指す方向と目的</b></li> <li>・ 再編後に出現する確かな学力の補償をはじめとする「子供たちの確かな育ち」</li> </ul>
取り組み（地域公共交通関連）	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ <b>小学校・中学校の再編計画の推進</b></li> <li>● <b>望ましい小学校・中学校の実現に向けて考慮すべきこと</b></li> <li>4) 安全な通学手段の確保</li> <li>・ 小学校は 4km、中学校は 6km 以内であればそれぞれ徒歩・自転車での通学を基本とする。</li> <li>・ それ以上の距離がある場合や地理的条件による徒歩・自転車通学が困難な場合、登下校時に何らかの危険が生じると予想される地域は、公共交通機関利用を認め、通学費の助成等保護者の負担軽減に努める。</li> <li>・ 再編により通学距離が延びる地域については、スクールバスの運行も視野に地域と協議の上安全な通学手段を確保</li> </ul>

# 資料5 ニーズ調査の結果

## 5.1 地域公共交通利用者の声

### 5.1.1 実施概要

#### (1) 実施概要

実施概要は、次のとおりです。

表 実施概要

項目	概要
対象	コミュニティバス・コミュニティタクシー利用者
方法	コミュニティバス：主要な停留所※で調査票配布・郵送回収 ※貴生川駅、近江土山駅、甲賀駅、甲南駅、信楽駅 コミュニティタクシー：タクシー運転手より利用者へ手渡し・郵送回収
期間	○配布：令和4年12月1日、12月2日（コミバス） 令和4年11月25日～12月2日（コミタク） ○締切：令和4年12月9日投函
有効回収数	130票    コミュニティバス利用：118票    コミタク利用：5票    不明：10票 ※コミバス、コミタクを両方利用が3名
主な調査項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミバス・コミタクの利用状況（利用地域、停留所までの移動手段、乗り継ぎの有無、利用時間帯等）</li> <li>・コミバス・コミタクの利用目的・行き先</li> <li>・普段のコミバス・コミタクの利用頻度</li> <li>・普段、コミバス・コミタクを利用する理由</li> <li>・コミバス・コミタクの不便な点、改善すべき点</li> <li>・利用可能と考える停留所までの時間、運行間隔、料金</li> <li>・個人属性（性別・年齢・運転免許・送迎車の有無）</li> </ul>



## (2)実施結果概要

実施結果の概要は、次のとおりです。

- ・回答者の居住地は、土山地域、水口地域が多く、両地域で約5割を占める。
- ・主な利用者層としては、年齢については10歳代（約1/4）と65歳以上の高齢者（約4割）、日常的に自動車を運転できない人（運転免許非保有又はペーパードライバーが約9割）。
- ・日常的に自動車を運転できない人のうち半数（全回答者の約4割）が、身の回りに送迎をしてくれる人がおらず、コミュニティバス・コミュニティバスがなければ移動手段がない。
- ・自宅から目的地までの移動手段については、鉄道（JR）が最も多く、これに次いで、乗り継ぎなし（コミバス・コミタクのみ）。
- ・全体としては買い物、通学、通院での利用が多い。地域別には、水口地域では通学、土山・甲賀地域では買い物、甲南地域では通院、信楽地域では買い物、娯楽・飲食等が多い。
- ・利用時間帯については、通勤・通学は行きは7,8時台、帰りは15~17時台がピーク、買い物・通院については、行きは9,10時台、帰りは13時台がピーク。
- ・利用頻度については、週1日以上利用されるという人が約7割を占める。（平日のみほぼ毎日が約25%、週1~2日が約19%、週3~4日が約17%）
- ・コミュニティバス・コミュニティタクシーを利用する理由としては、「他に利用できる交通手段がない」が約5割となっており、利用者にとって必要不可欠な移動手段となっている。また、65-74歳で「出発地・目的地から停留所が近い」と回答した割合が高く、停留所を増やしたり、停留所の位置を調整したり、増やすことにより、高齢の方の利用者が増える可能性があると考えられる。
- ・コミュニティバス・コミュニティタクシーの不便な点・改善点としては、「運行本数」「運行時間帯」「鉄道駅等の乗継ぎ」が上位となっている。また、10歳代や20-64歳の現役世代では、「鉄道駅等の乗継ぎ」および「交通渋滞による遅れ」を挙げる人が多くなっている。
- ・利用してもよいと考えるサービス水準については以下のとおり。
  - 停留所までの時間：徒歩10分までなら許容（約48%）、徒歩5分までなら許容（約87%）
  - 運行間隔：30分間隔なら許容（約68%）、15分間隔なら許容（約92%）
  - 利用料金：300円までなら許容（約32%）、200円までなら許容（約91%）

## 5.1.2 調査物件



調査票等は、次のとおりです。

### 甲賀市内のコミュニティバス・コミュニティタクシー（コミバス・コミタク） を利用するみなさまへのアンケート調査票

日頃から甲賀市の市政各般にわたりご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。この調査は、『甲賀市地域公共交通計画』策定のため、みなさまの地域公共交通の利用状況等をお伺いするものです。つきましては、ご多用のところ誠に恐れ入りますが、調査にご協力くださいますよう、お願いいたします。

※この調査票は、**受け取られた方がご回答**ください。

※ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒にいれ、**12月9日（金）まで**に、  
切手を貼らず、無記名のまま、ポストにご投函ください。

※ご回答の内容は、個人が特定されないよう統計処理のうえ、本市のまちづくりに利用させていただきます。

● **お問合せ先** ● 甲賀市地域公共交通活性化協議会（事務局：甲賀市 建設部 公共交通推進課）  
TEL：0748-69-2215（月～金の閉庁時間及び土日祝を除く）

#### ◆本日（調査票を受け取られた日）のコミバス・コミタクの利用についてお教えてください。

##### 質問1 本日の利用状況等について教えてください。

①利用した日：2022（令和4）年 月 日

②利用した地域【あてはまるものすべてに○】

- |         |         |          |
|---------|---------|----------|
| 1. 水口地域 | 2. 土山地域 | 3. 甲賀地域  |
| 4. 甲南地域 | 5. 信楽地域 | 6. 分からない |

③利用した交通手段について【あてはまるものすべてに○】

- |             |               |
|-------------|---------------|
| 1. コミュニティバス | 2. コミュニティタクシー |
|-------------|---------------|

④停留所までの交通手段について【○は1つだけ】

- |                                |        |                    |
|--------------------------------|--------|--------------------|
| 1. 徒歩                          | 2. 自転車 | 3. 自動車（家族や知人による送迎） |
| 4. その他（ <input type="text"/> ） |        |                    |

⑤自宅から目的地までまたは目的地から自宅までの移動に際して、乗り継いだ交通手段  
【あてはまるものすべてに○】

- |                              |                                |             |  |
|------------------------------|--------------------------------|-------------|--|
| 1. 乗り継ぎはしていない（コミバスまたはコミタクのみ） |                                |             |  |
| 2. 鉄道（JR）                    | 3. 鉄道（信楽高原鐵道）                  | 4. 鉄道（近江鐵道） |  |
| 5. 路線バス                      | 6. その他（ <input type="text"/> ） |             |  |

⑥利用時間帯について

※行きまたは帰りにコミバス・コミタクを利用しなかった場合は、記入不要です。

行き	午前・午後（ <input type="text"/> ）時頃	帰り	午前・午後（ <input type="text"/> ）時頃
----	---------------------------------	----	---------------------------------

質問2 コミバス・コミタクを利用して外出された主な目的は何ですか？【○は最大3つ】

- |           |         |        |                                |           |
|-----------|---------|--------|--------------------------------|-----------|
| 1. 通勤     | 2. 通学   | 3. 買い物 | 4. 通院                          | 5. 娯楽・飲食等 |
| 6. 習い事・塾等 | 7. スポーツ | 8. 旅行  | 9. その他（ <input type="text"/> ） |           |

質問3 コミバス・コミタクを利用したお出かけ先をお教えてください。

また、訪問先の施設名称もお教えてください。【○は1つだけ】

- |   |
|---|
| 1. 甲賀市内 主な施設の名称（ <input type="text"/> ）<br>※商業施設の場合、できるだけ店舗の地域名称までお答えください。（例）アル・プラザ 水口店 |
| 2. 甲賀市外（ <input type="text"/> ）市 ⇒主な施設の名称（ <input type="text"/> ）                       |

→裏面に続きます。

## ◆ 普段のコミバス・コミタク利用についてお教えてください。

## 質問4 普段、コミバス・コミタクをどれくらいの頻度で利用されますか。【○は1つだけ】

- |            |             |              |          |
|------------|-------------|--------------|----------|
| 1. 休日を含む毎日 | 2. 平日のみほぼ毎日 | 3. 週3~4回     | 4. 週1~2回 |
| 5. 月2~3回   | 6. 月1回以下    | 7. ほとんど利用しない |          |

## 質問5 普段、コミバス・コミタクを利用する理由をお教えてください。【○は1つだけ】

- |                   |                     |
|-------------------|---------------------|
| 1. 他に利用できる交通手段がない | 2. 家族等に送り迎えを頼む必要がない |
| 3. 行きたいところに運行している | 4. 出発地・目的地から停留所が近い  |
| 5. 安心・安全に移動できる    | 6. その他（具体的に：_____）  |

## 質問6 普段、コミバス・コミタクを利用するにあたって不便に思う点、改善すべきだと思う点をお教えてください。【あてはまるものすべてに○】

- |                    |                 |               |
|--------------------|-----------------|---------------|
| 1. 運行本数            | 2. 運行時間帯        | 3. 運行ルート      |
| 4. 停留所までの距離        | 5. 停留所までの高低差    | 6. 目的地までの所要時間 |
| 7. 運賃              | 8. 交通渋滞等による到着遅れ | 9. 運行に関する情報提供 |
| 10. 待ち合い環境（ベンチや上屋） | 11. 運転手のサービス・態度 |               |
| 12. 鉄道駅等での乗継ぎ      | 13. その他（_____）  |               |

## 質問7 甲賀市の今後のコミバス・コミタク運行のあり方を検討するにあたり、以下の①~③についてお答えください。【それぞれに○は1つだけ】

①自宅から停留所までどの程度までなら歩けますか。	徒歩（3・5・10・15・それ以上）分
②運行間隔について、どの程度までなら利用してもよいと思いますか。	概ね（10・15・30・60・それ以上）分
③利用1回あたり支払える料金はいくら程度までですか。	1回あたり （100円・200円・300円・500円・それ以上）

## ◆あなたご自身のことについてお教えてください。

## 質問8 あなたの性別・年齢をお教えてください。【それぞれに○は1つだけ】

- |       |           |           |           |           |           |
|-------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| ①性別 ⇒ | 1. 男性     | 2. 女性     |           |           |           |
| ②年齢 ⇒ | 1. 10歳代   | 2. 20歳代   | 3. 30歳代   | 4. 40歳代   | 5. 50歳代   |
|       | 6. 60~64歳 | 7. 65~69歳 | 8. 70~74歳 | 9. 75~79歳 | 10. 80歳以上 |

## 質問9 あなたのお住まいの場所をお教えてください。【○は1つだけ】

- |                     |         |         |         |         |
|---------------------|---------|---------|---------|---------|
| 1. 水口地域             | 2. 土山地域 | 3. 甲賀地域 | 4. 甲南地域 | 5. 信楽地域 |
| 6. 甲賀市外⇒市町村名（_____） |         |         |         |         |

⇒1.~5.を選んだ方（市内にお住まいの方）のみお答えください

ご自宅から最寄りの停留所名：（\_\_\_\_\_），停留所まで徒歩で約（\_\_\_\_\_）分

## 質問10 自動車の利用について、お教えてください。【○は1つだけ】

- |   |
|---|
| 1. 自動車運転免許を保有しており、自分で運転している                   |
| 2. 自動車運転免許を保有しているが、自分で運転することはあまりない（ペーパードライバー） |
| 3. 自動車運転免許を保有していたが、すでに返納した                    |
| 4. 自動車運転免許を取得したことがない                          |

2,3,4を選んだ方のみお答えください。身の回りに日常的に送迎してくれる家族や知人がいますか？

- |       |        |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

ご協力ありがとうございました。

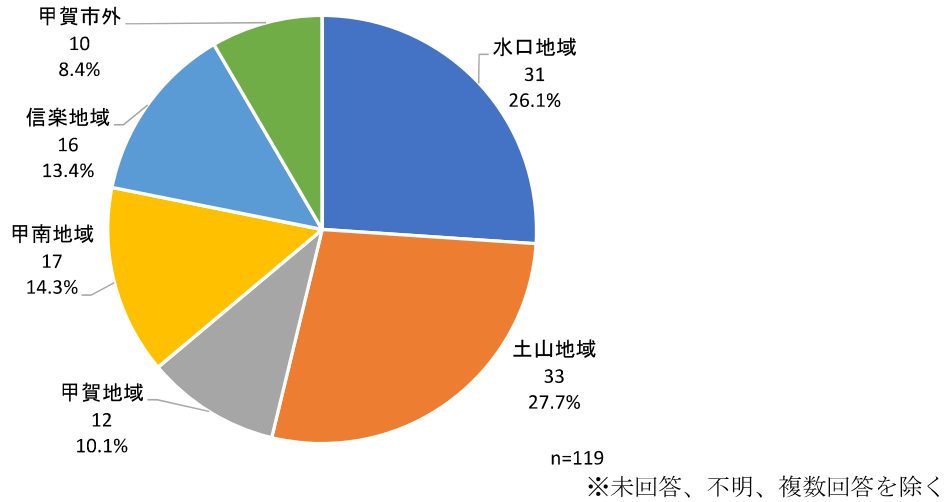
5.1.3 結果概要



(1) 回答者の概要

① 居住地

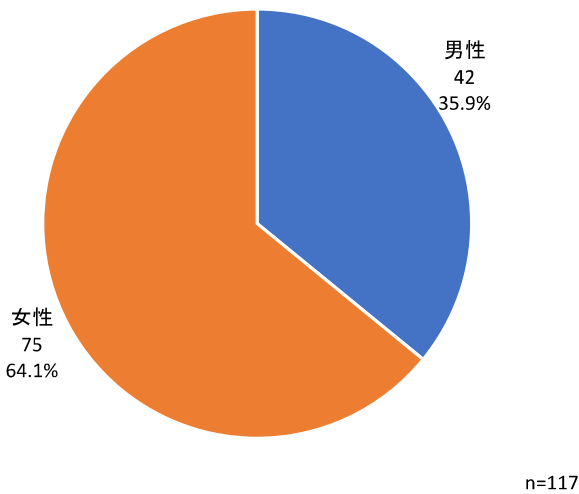
回答者の居住地は、土山地域が約28%で最も多く、次いで水口地域が約26%、甲南地域が約14%、信楽地域が約13%、甲賀地域が約10%となっています。



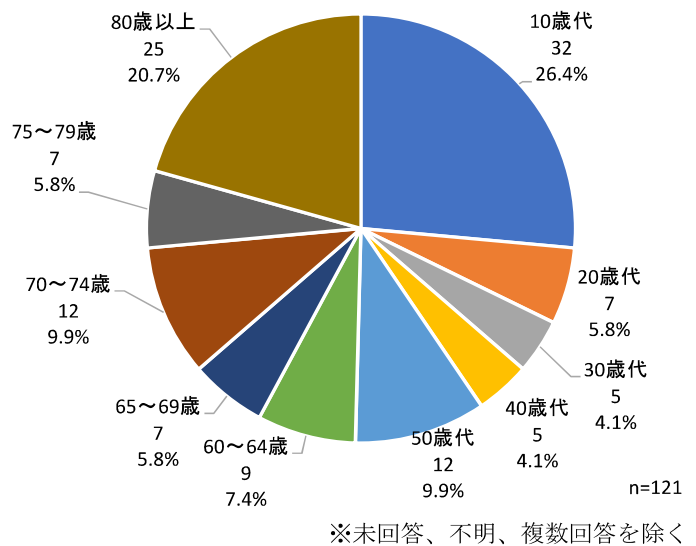
② 性別・年齢

回答者の性別は、女性が約64%となっています。年齢は、10歳代が約26%で最も多く、次いで80歳以上が約21%、70-74歳が約10%となっており、65歳以上の高齢者が約42%を占めています。

【性別】



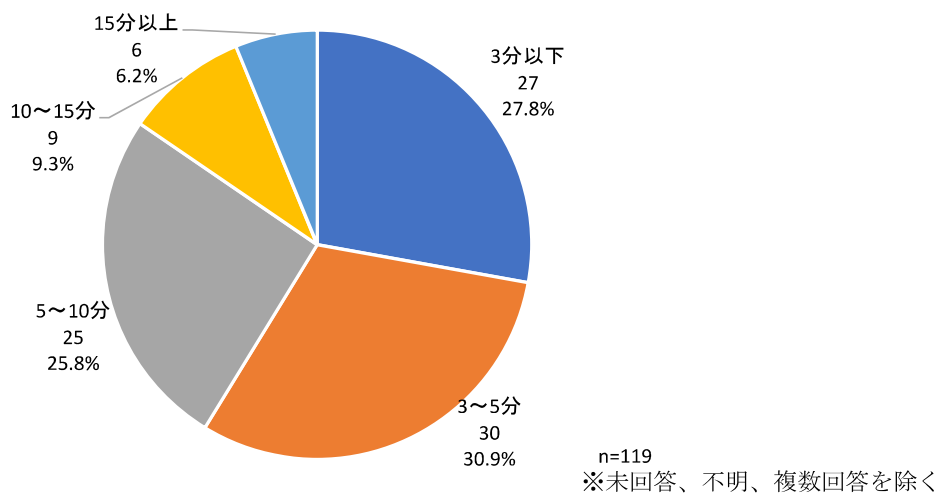
【年齢】





## ③ 最寄りの停留所までの距離（徒歩時間）

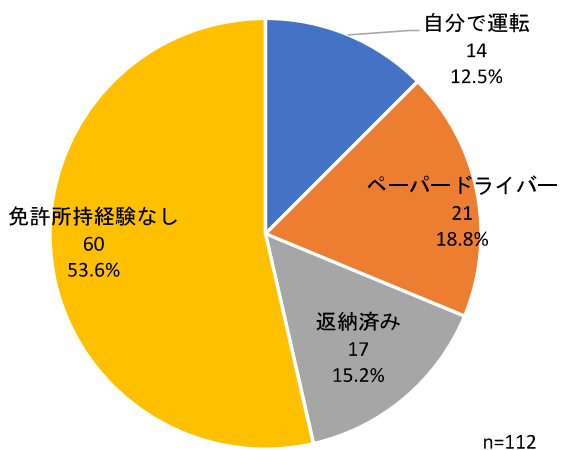
回答者の最寄りの停留所までの距離については、徒歩3～5分が約31%で最も多く、次いで徒歩3分以下が約28%、徒歩5～10分が約26%となっており、徒歩5分以下が約59%を占めます。



## ④ 運転免許の保有状況と身の回りに送迎をしてくれる人の有無

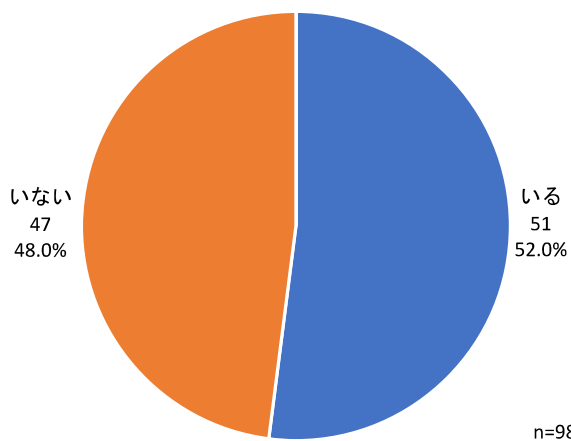
回答者の運転免許の保有状況については、免許所持経験なしが約54%で最も多く、次いで、ペーパードライバーが約19%、返納済みが約15%となっており、日常的に車を運転できない人が約9割を占めています。これら日常的に車を運転できない人のうち、身の回りに送迎をしてくれる人がいないという人が約48%となっており、コミュニティバス・コミュニティタクシーがないと移動に困る方が回答者の約4割を占めています。

## 【運転免許の保有状況】



## 【身の回りに送迎をしてくれる人の有無】

※左記質問で、「自分で運転」以外を選んだ人のみ



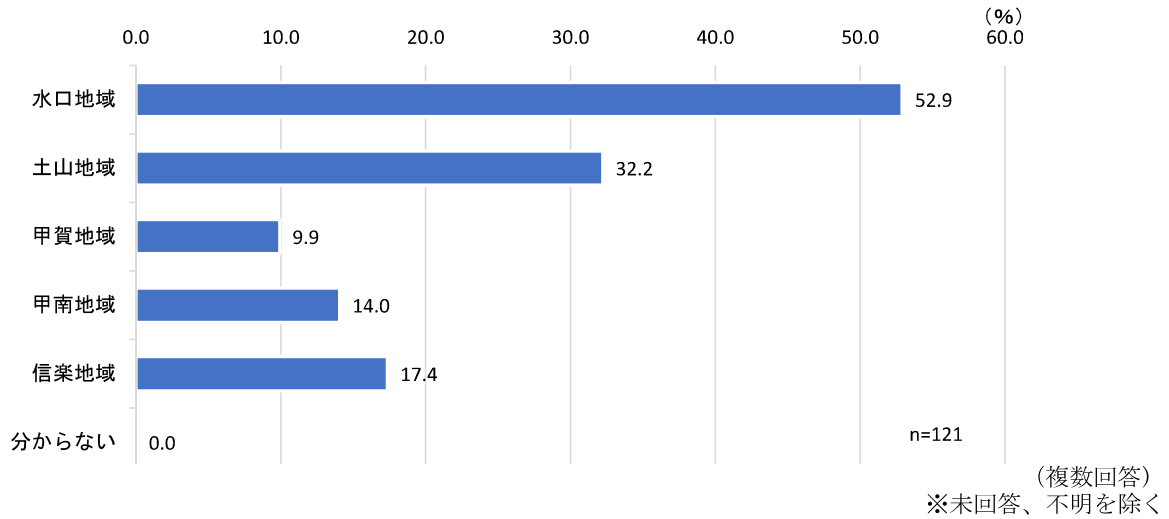
※未回答、不明、複数回答を除く

資料5 ニーズ調査の結果

(2) コミュニティバス・コミュニティタクシーの利用状況（利用当日の動き）

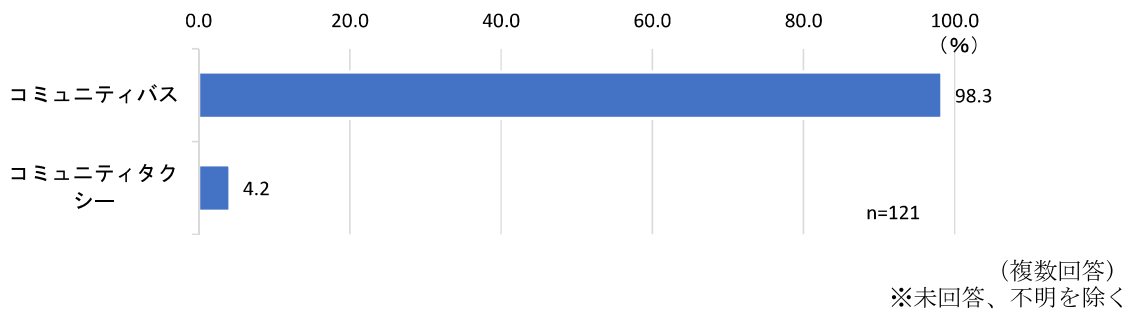
①利用地域

回答者の利用地域については、水口地域が約 53%で最も多く、これに次いで、土山地域が約 32%となっています。



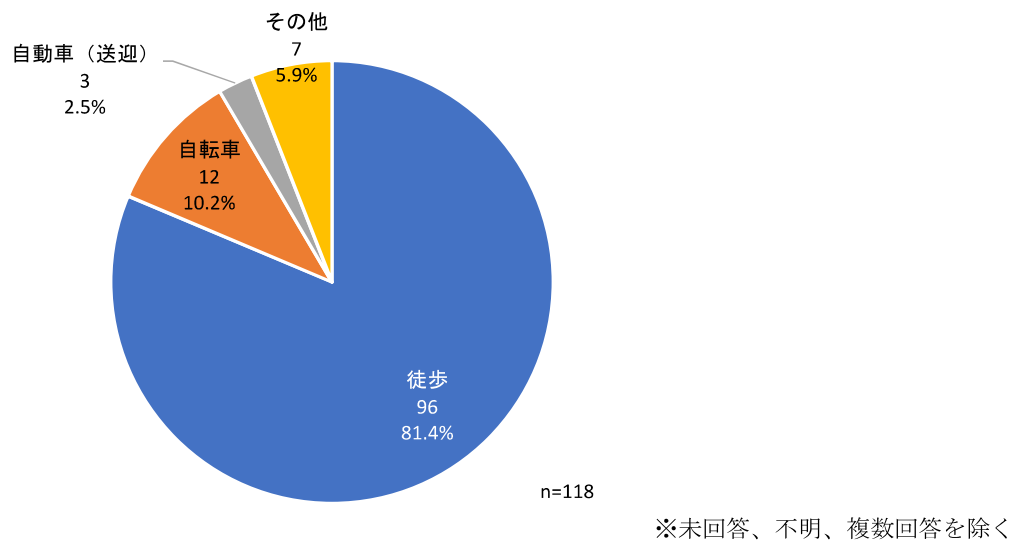
②利用した交通手段

回答者の利用した交通手段としては、コミュニティバスが約 98%を占めます。



③停留所までの移動手段

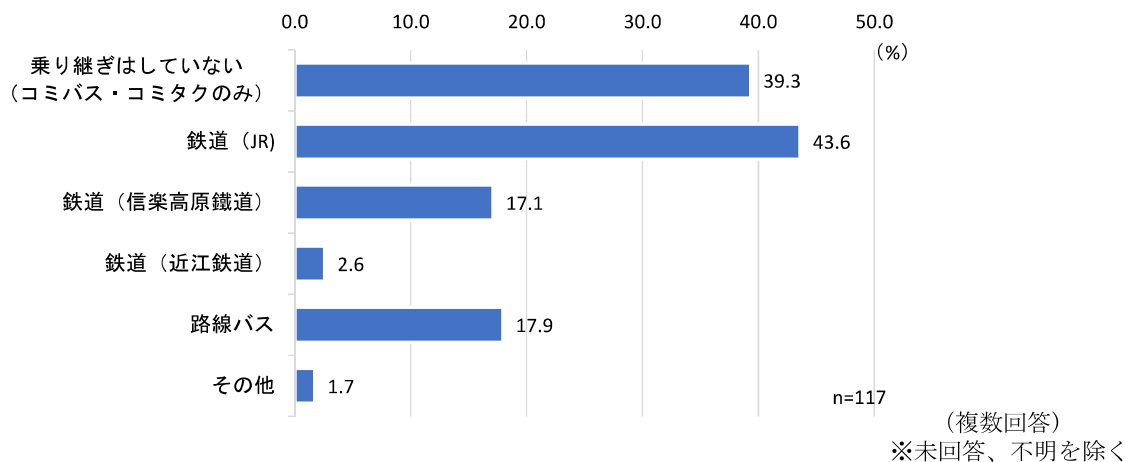
停留所までの移動手段としては、徒歩が約 8 割で最も多く、これに次いで自転車となっています。



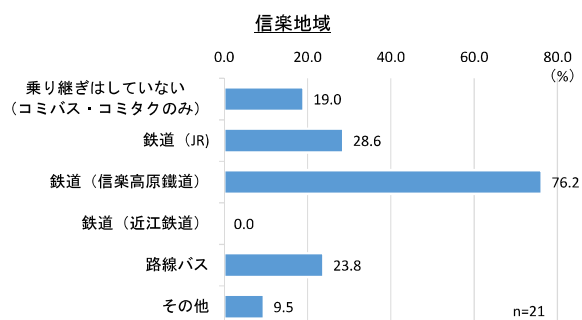
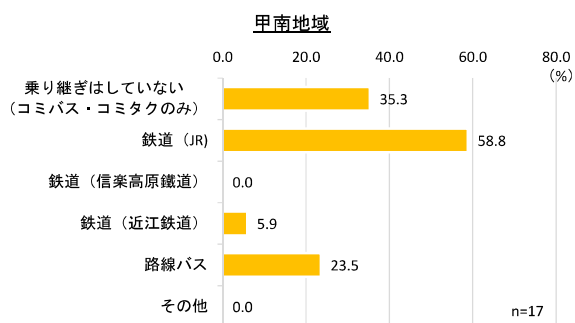
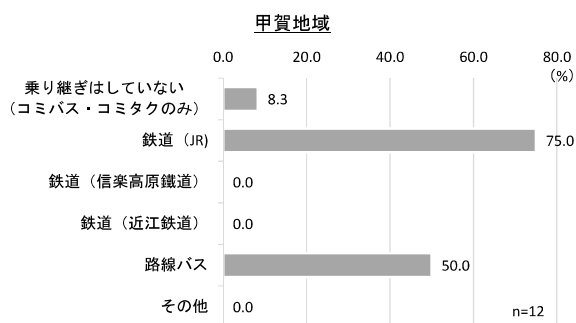
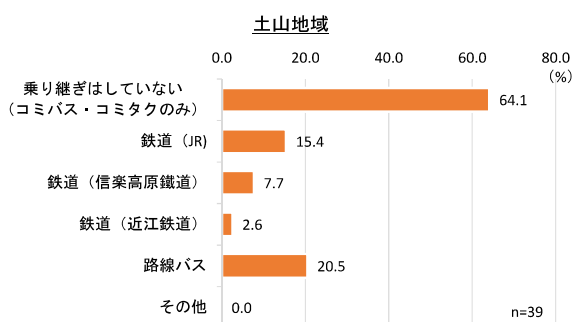
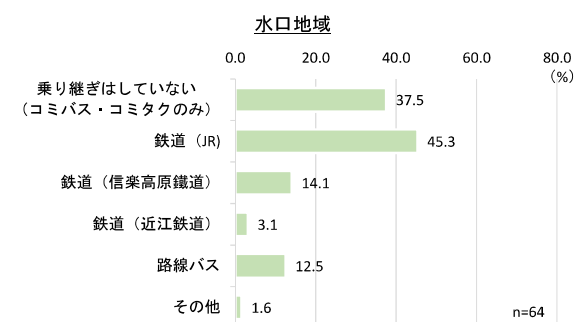
## ④乗り継いだ交通手段の有無（自宅⇄目的地間の移動）

自宅⇄目的地間の移動において、コミュニティバス・コミュニティタクシー以外に乗り継いだ交通手段については、全体では「鉄道（JR）」が約44%で最も多く、次いで、「乗り継ぎはしていない」が約39%となっています。

地域別にみると、水口・甲賀・甲南地域では「鉄道（JR）」、土山地域では「乗り継ぎはしていない」、信楽地域では「鉄道（信楽高原鉄道）」が最も多くなっています。また、路線バスとの乗り継ぎは、各地域とも2割程度となっています。



## 【利用地域別】

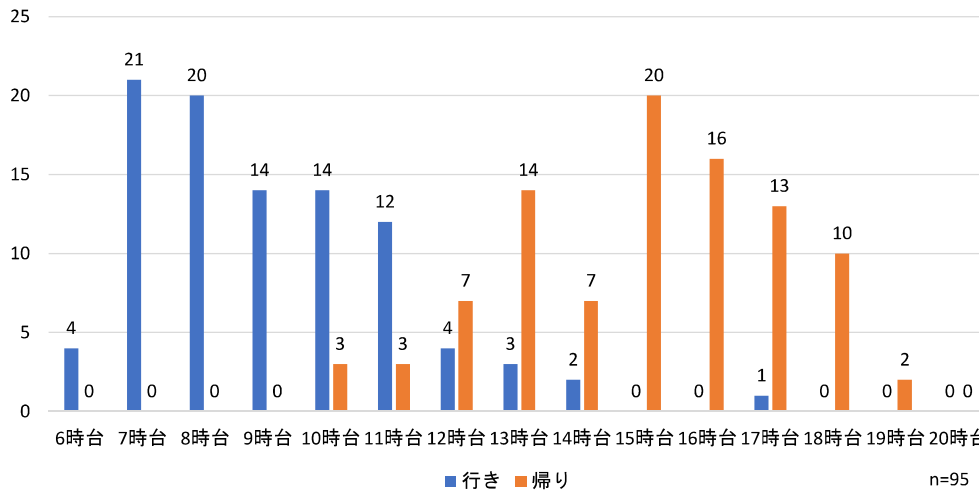


(複数回答)  
※未回答、不明を除く

資料5 ニーズ調査の結果

⑤利用時間帯

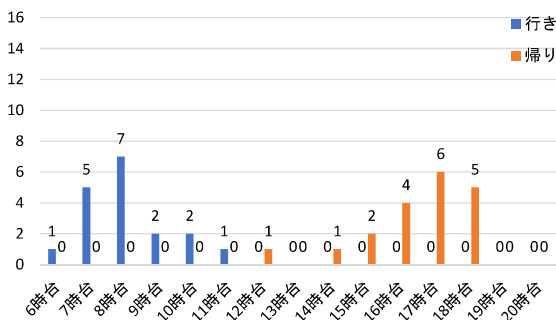
利用時間帯については、全体では行きは7時台、8時台、帰りは15時台の利用がピークとなっています。利用目的別にみると、通勤・通学目的については、行きは7～8時台、帰りは15～17時台となっています。買い物・通院目的では、行きは9～10時台、帰りは13時台がピークとなっています。



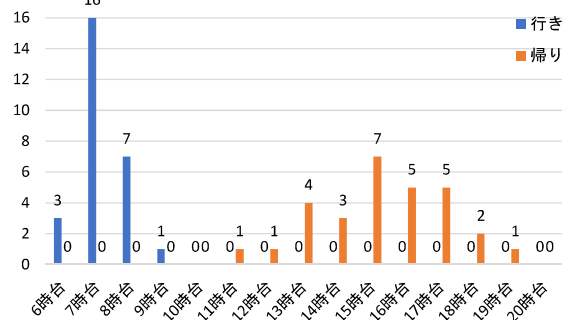
※未回答、不明を除く

【目的別】

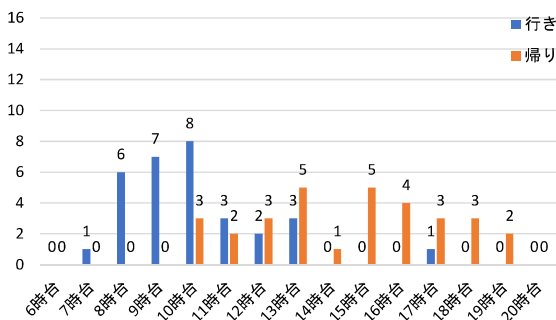
通勤



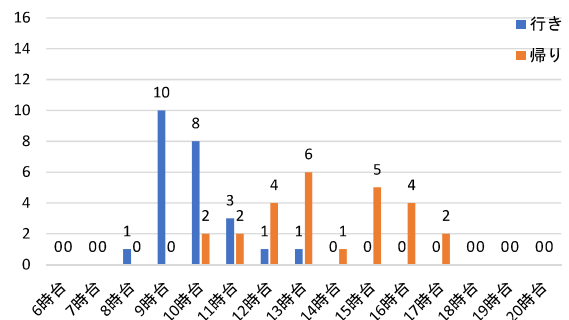
通学



買い物



通院

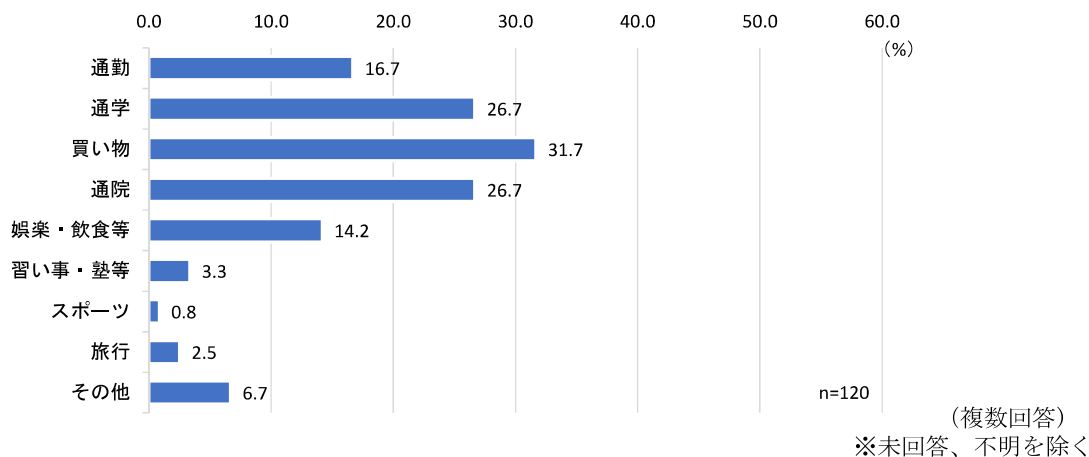


※未回答、不明を除く

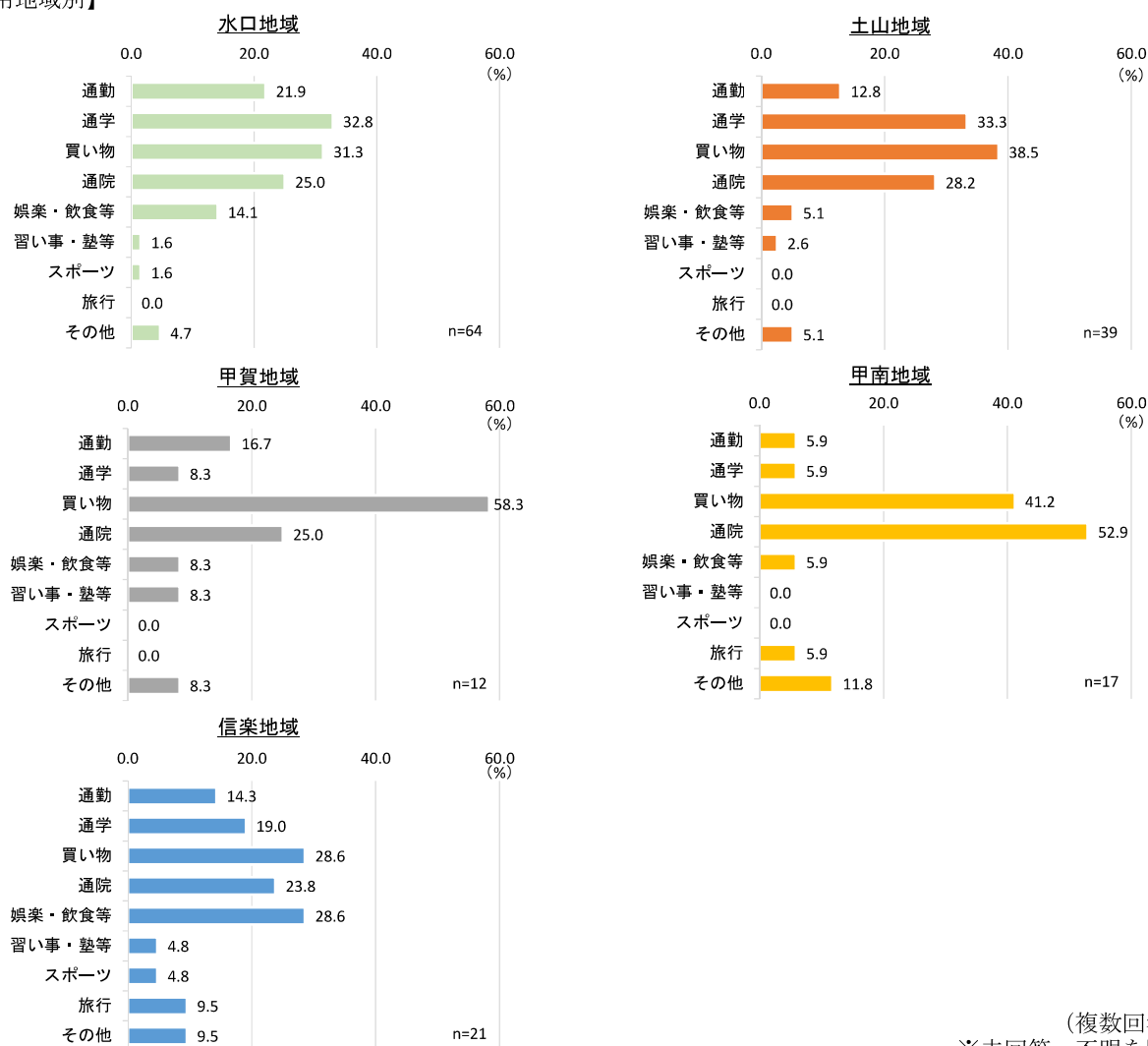
## ⑥コミュニティバス・コミュニティタクシーを利用して外出した主な目的

コミュニティバス・コミュニティタクシーの利用目的については、買い物が約32%で最も多く、これに次いで、通学および通院（各約27%）となっています。

地域別にみると、水口地域では「通学」、土山・甲賀地域では「買い物」、甲南地域では「通院」、信楽地域では「買い物」「娯楽・飲食等」が最も多くなっています。



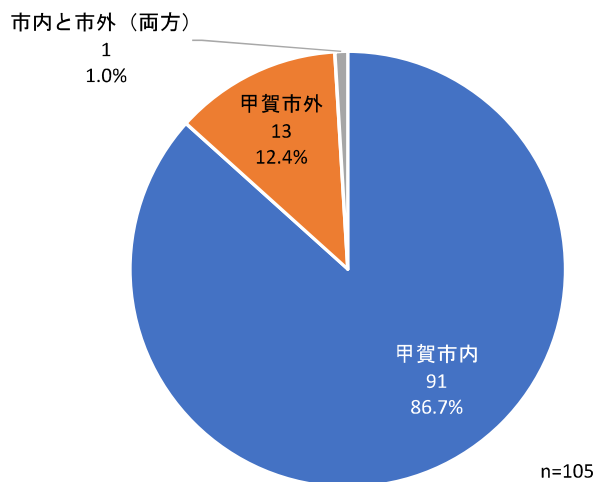
## 【利用地域別】



資料5 ニーズ調査の結果

⑦コミュニティバス・コミュニティタクシーを利用したお出かけ先

お出かけ先としては、甲賀市内が約 87%を占め、具体的には「アル・プラザ水口店」「西友水口店」「公立甲賀病院」「JA 水口店」など、水口地域の施設が多くなっています。



※未回答、不明、複数回答を除く

【市内施設 (回答者数 2 名以上)】

アル・プラザ水口店	17
西友水口店	16
公立甲賀病院	7
JA水口店	6
水口東高校	5
ホテルレイクヴィラ	4
平和堂 (店舗名不明)	4
ハズイ水口店	4
貴生川駅	3
甲賀市役所	3
信楽中学校	2
田村神社	2
水口高校	2
土山小学校	2
信楽中央病院	2
水口病院	2
滋賀銀行	2

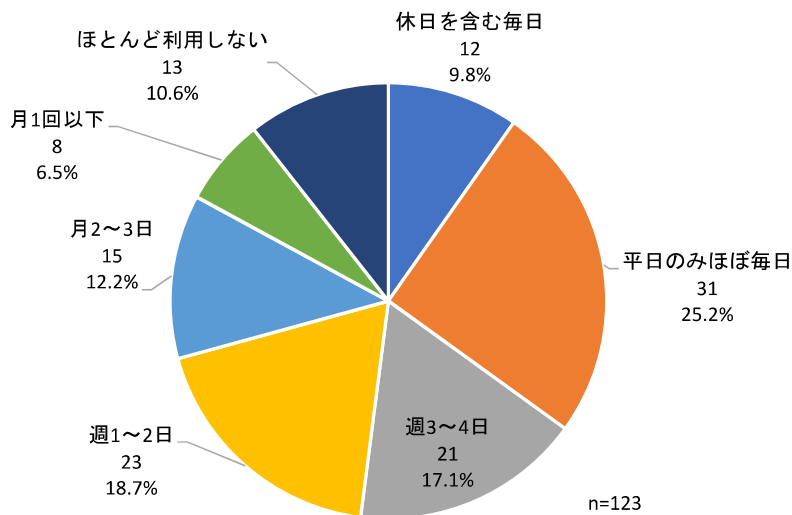
【市外市町村】

湖南市	5
草津市	3
大津市	1
京都市	1
県外	1
彦根市	1
栗東市	1



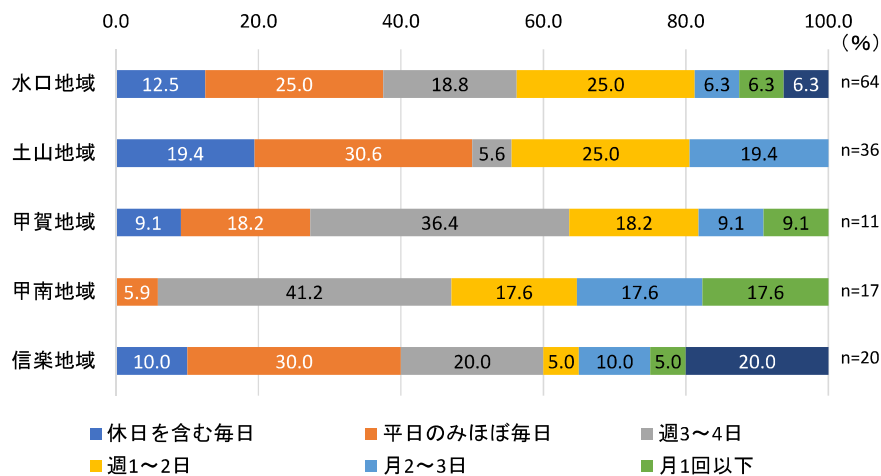
(3) コミュニティバス・コミュニティタクシーの利用頻度（普段の動き）

普段のコミュニティバス・コミュニティタクシーの利用頻度については、「平日のみほぼ毎日」が約25%で最も多く、次いで、「週1～2日」が約19%、「週3～4日」が約17%となっており、週1日以上の利用が約7割を占めています。



※未回答、不明、複数回答を除く

【利用地域別】



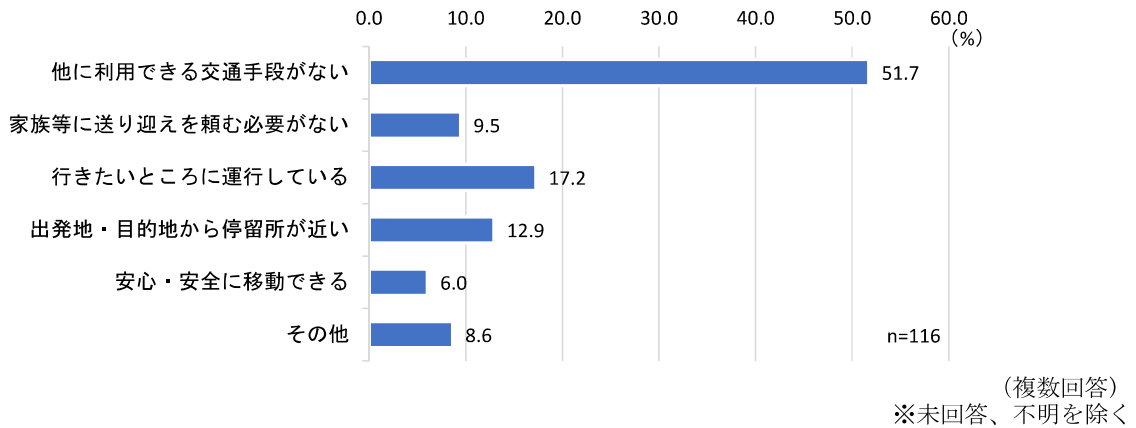
※未回答、不明、複数回答を除く

資料5 ニーズ調査の結果

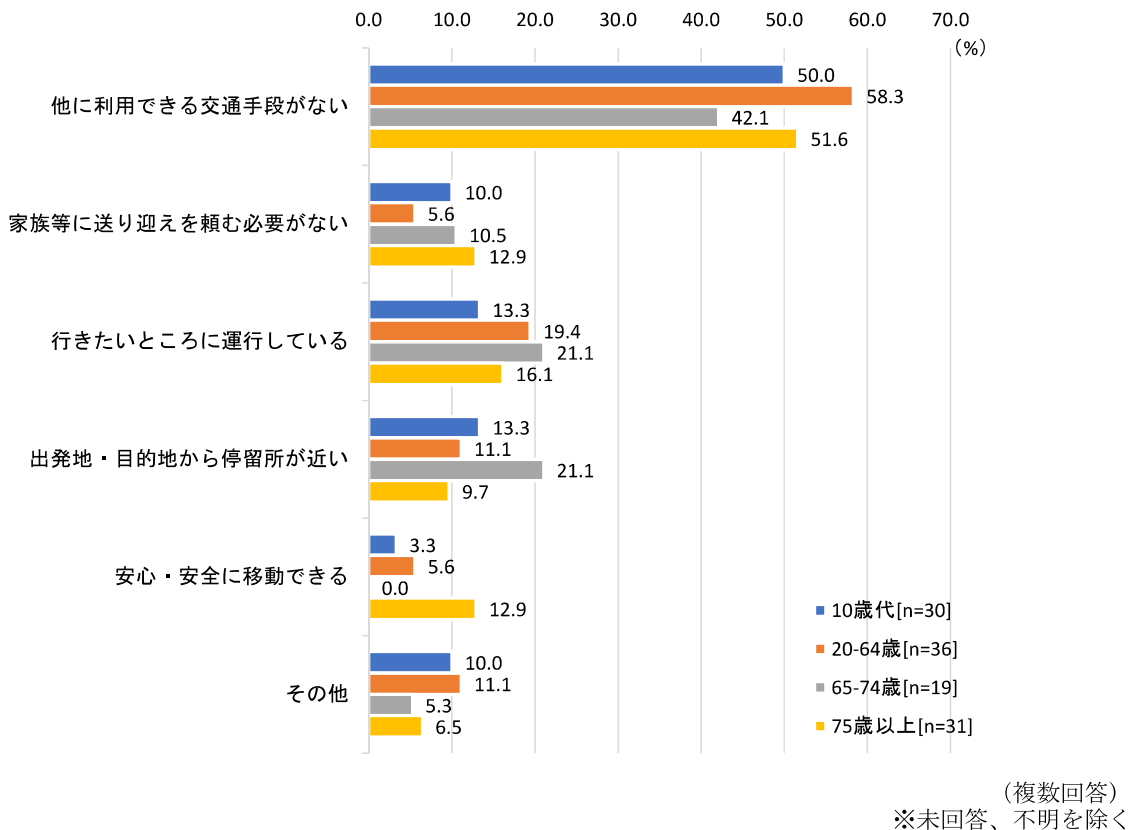
(4) コミュニティバス・コミュニティタクシーを利用する理由

コミュニティバス・コミュニティタクシーを利用する理由については、「他に利用できる移動手段がない」が約52%で圧倒的に多くなっています。

年齢別に見ても、それほど大きな差異はありませんが、65-74歳では、「出発地・目的地から停留所が近い」と回答した割合が、他年代に比べて高くなっています。

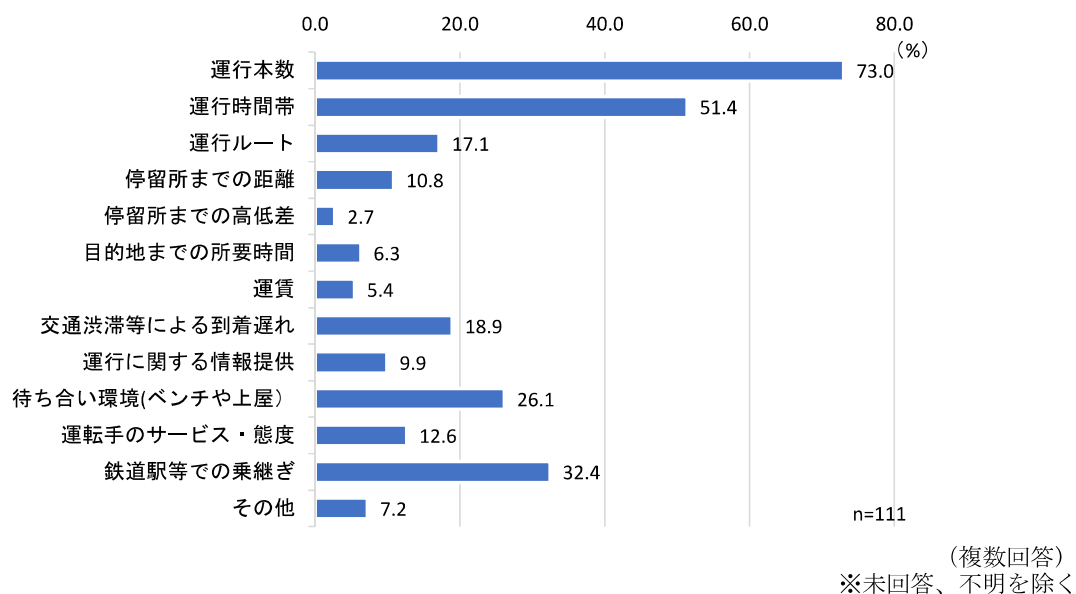


【年齢別】



## (5) コミュニティバス・コミュニティタクシーの不便な点・改善すべき点

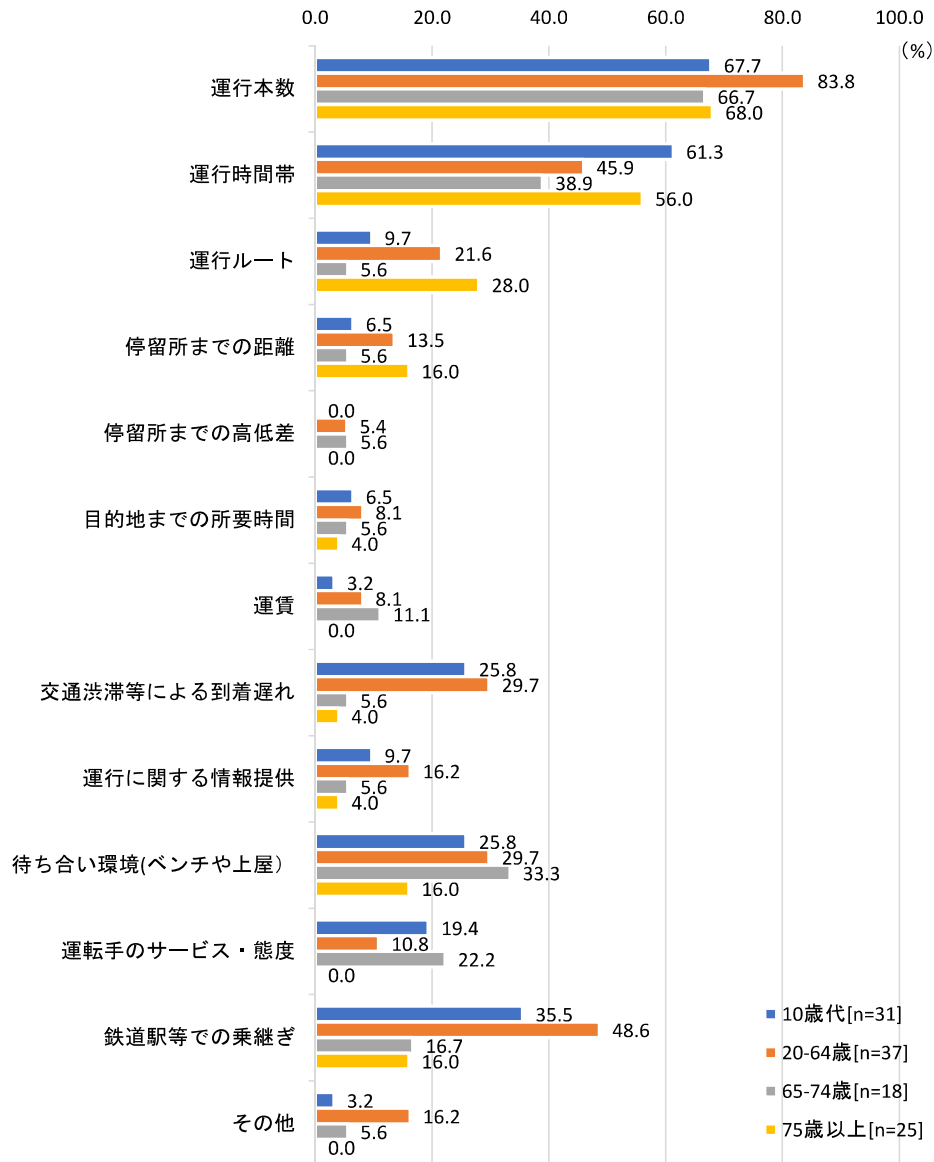
コミュニティバス・コミュニティタクシーの不便な点・改善すべき点としては、「運行本数」が約73%で最も多く、次いで「運行時間帯」が約51%、「鉄道駅等の乗継ぎ」が約32%となっています。



資料5 ニーズ調査の結果

年齢別に見ると、10歳代および20-64歳で、「鉄道駅等での乗継ぎ」「交通渋滞等による到着遅れ」を改善点として挙げる割合が高くなっています。

【年齢別】



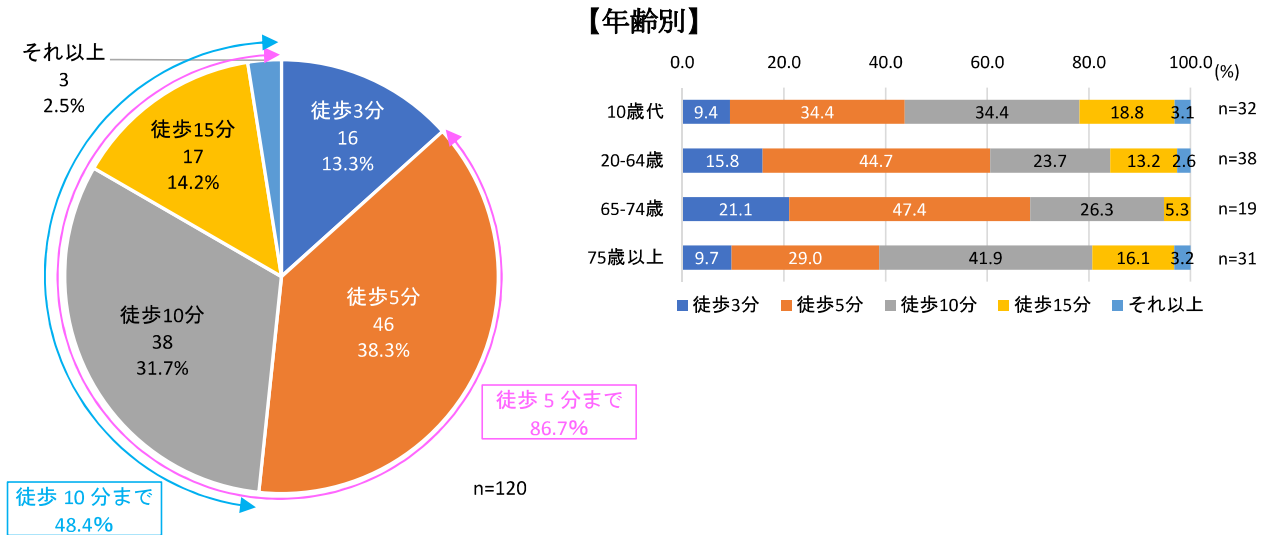
(複数回答)  
※未回答、不明を除く

## (6) コミュニティバス・コミュニティタクシーのサービス水準について

## ① 停留所まで歩ける距離（時間）

停留所まで歩ける距離（時間）については、徒歩10分まで許容する回答（徒歩15分以上、徒歩15分、徒歩10分を選択）が約48%、徒歩5分までなら許容する回答（徒歩15分以上、徒歩15分、徒歩10分、徒歩5分を選択）が約87%となっています。

年齢別に見ると、74歳までは、高齢ほど許容できる距離（時間）が長くなる傾向があります。

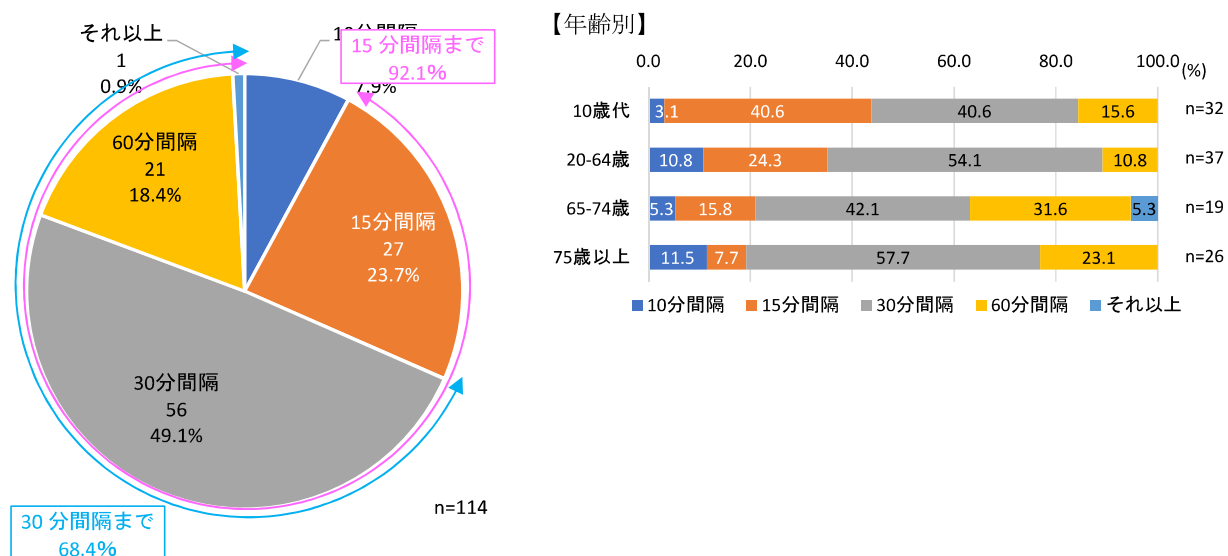


※未回答、不明、複数回答を除く

## ② 利用してもよいと思う運行間隔

利用してもよいと思う運行間隔については、30分間隔までなら許容する回答（60分以上、60分、30分を選択）が約68%、15分間隔までなら許容する回答（60分以上、60分、30分、15分を選択）が約92%となっています。

年齢別に見ると、高齢ほど、許容できる運行間隔が長くなる傾向があります。

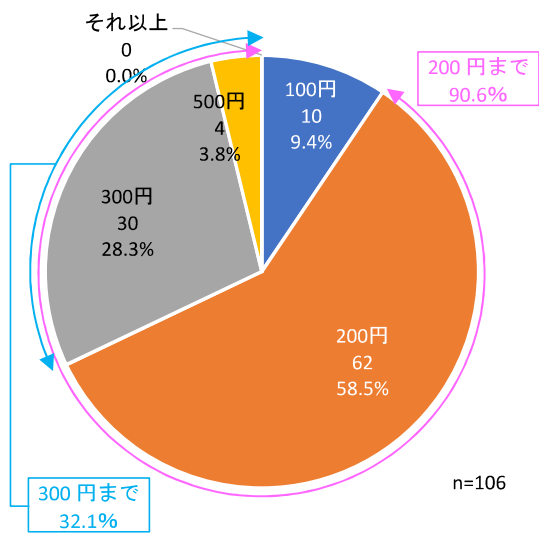


※未回答、不明、複数回答を除く

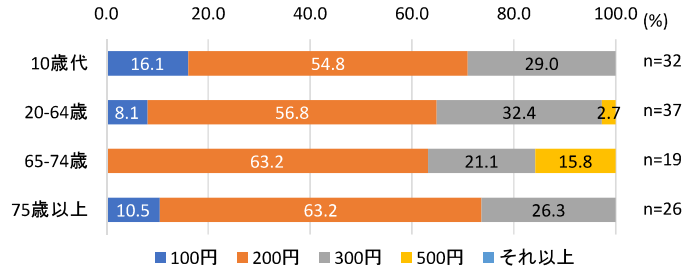
③ 利用1回あたり支払える料金

利用1回あたりの利用料金については、300円までなら許容する回答（500円以上、500円、300円を選択）が約32%、200円までなら許容する回答（500円以上、500円、300円、200円を選択）が約92%となっています。

年齢別に見ると、74歳までは、高齢ほど、許容できる利用料金が高くなる傾向があります。



【年齢別】



※未回答、不明、複数回答を除く



## 5.2 市内の高校生の声

### 5.2.1 実施概要

#### (1) 実施概要

実施概要は、次のとおりです。

表 実施概要

項目	概要
対象	甲賀市内の高校に通学する学生 (水口高校、水口東高校、甲南高校・甲南高等養護学校、水口東中学校、信楽高校、甲賀看護専門学校)
方法	各学校にて調査票配布 学校での回収もしくはweb上にて回答
期間	令和4(2022)年10月下旬以降順次配布 令和4(2022)年11月7日(月)締切
有効回収数	1,753票 水口高校：554票、水口東高校学校：551票、甲南高校・甲南養護学校：300票、水口東中学校：176票、信楽高校：110票、甲賀看護専門学校：62票
主な調査項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個人属性（居住地、学校、学年、部活動への所属、放課後の塾や習い事）</li> <li>・ ふだんの通学手段</li> <li>・ 鉄道・バス利用の際の不満、または、鉄道・バスを利用しない理由</li> <li>・ バスや鉄道がもっと便利になる・利用したくなるアイデア</li> <li>・ 今後の居住意向</li> </ul>

#### (2) 実施結果概要

実施結果の概要は、次のとおりです。

- ・ 回答者の居住地は、甲賀市内が約6割を占め、次いで湖南市、日野町、東近江市がそれぞれ約1割程度。
- ・ 通学の交通手段は、甲賀市在住者は徒歩・自転車のみが7割。湖南市在住者は、徒歩・自転車のみとJR草津線が約5割で同程度、日野町・東近江市在住者は、近江鉄道が約7割を占める。いずれの場合も、自家用車での送迎が2～3割程度となっている。
- ・ 鉄道利用者が不便に感じることは、運行本数、運賃、駅待ち環境が多くなっている。
- ・ バスの利用が不便に感じることは、運行本数、定時性、車内混雑、バス待ち環境が多くなっている。
- ・ 鉄道やバスがより便利になるアイデア・意見としては、学生の登下校・クラブ活動の時間にあわせた運行本数の増加、朝の時間帯の混雑に対応する車両増設など、鉄道の増便や車両に関する意見のほか、駅の設備の改善、運賃の割引に関する意見などが聞かれた。





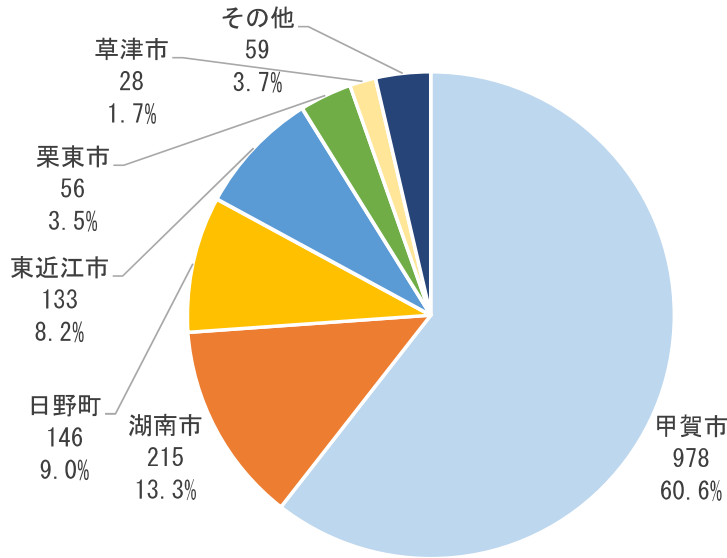
5.2.3 結果概要



(1) 回答者の概要

① 居住地

回答者の居住地は、甲賀市が最も多く約 61%、次いで湖南市約 13%、日野町 9%、東近江市 8%となっています。

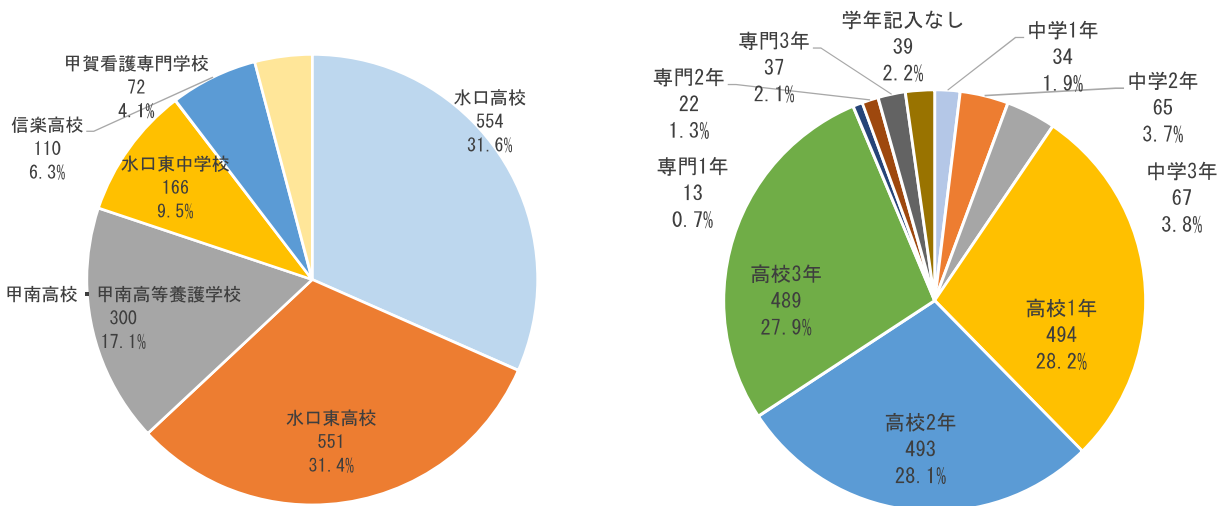


[N=1,615]  
※未回答、不明、複数回答を除く

② 所属する学校・学年

回答者の所属する学校は、水口高校と水口東高校がいずれも約 32%、甲南高校・甲南高等養護学校約 17%、水口東中学校約 10%、信楽高校約 6%、甲賀看護専門学校約 4%となっています。

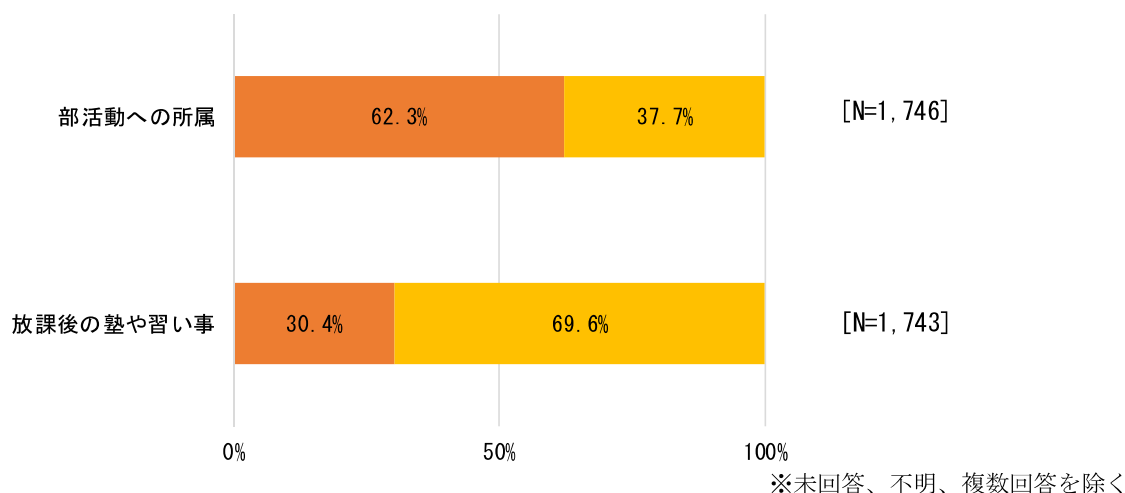
高校生が約 86%、中学生が約 10%、専門学校生が約 4%となっています。



[N=1,753]  
※未回答、不明、複数回答を除く

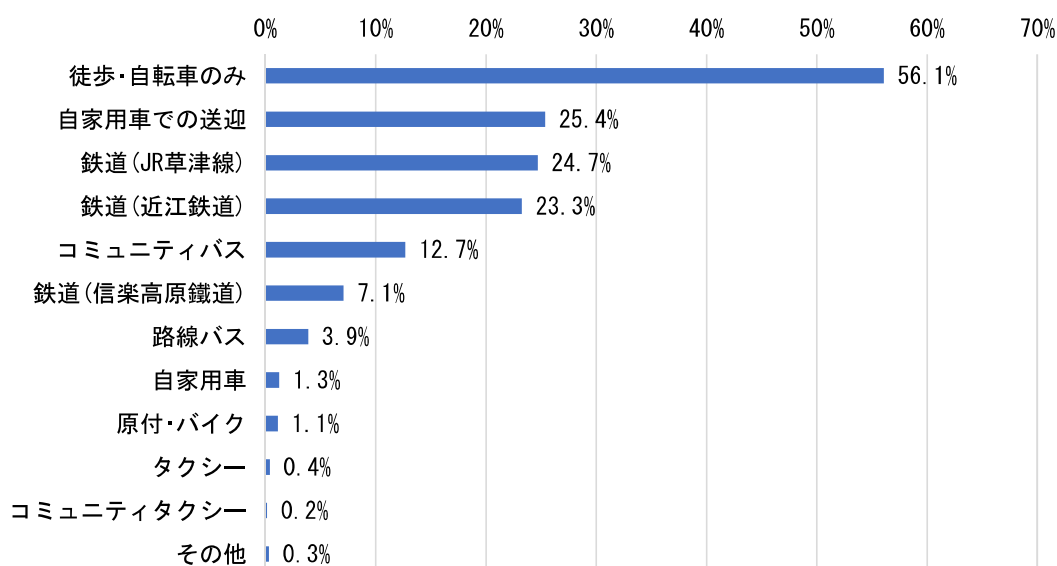
## ③ 部活動への所属、塾や習い事の有無

回答者のうち、部活動に所属する学生は約 62%、放課後の塾や習い事を行っている学生は約 30%となっています。



## (2) 通学の交通手段

全回答者で見ると、徒歩・自転車のみが多く、回答した生徒の半数以上を占めています。続いて自家用車での送迎、JR草津線や近江鉄道利用がほぼ同程度です。コミュニティバス、路線バスを合わせて約 17%、信楽高原鉄道はさらに少なく、全体の約 7%にとどまっています。



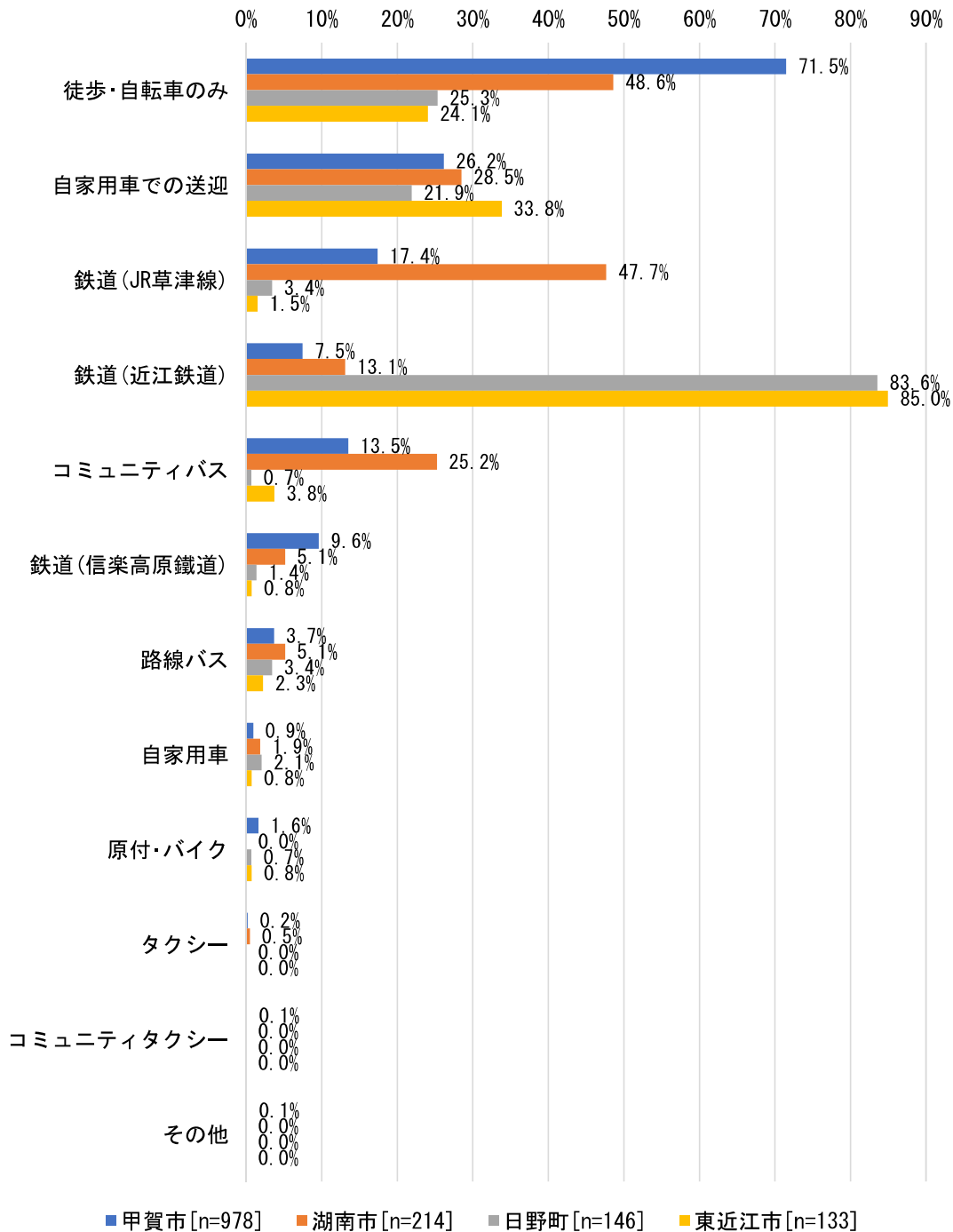
[N=1,749] (複数回答)  
※未回答、不明を除く

資料5 ニーズ調査の結果

上位4市町（甲賀市・湖南市・日野町・東近江市）別の交通手段を見ると、甲賀市在住者は、徒歩・自転車のみが約72%で最も多く、これに次いで、自家用車での送迎が約26%と多くっており、コミュニティバスは約14%、信楽高原鉄道は約10%となっています。

湖南市在住者は、徒歩・自転車のみと鉄道（JR草津線）が50%弱で同程度、これに次いで、自家用車での送迎が約29%、コミュニティバスが約25%となっています。

日野市及び東近江市在住者は近江鉄道が圧倒的に多く、いずれも8割を超えています。



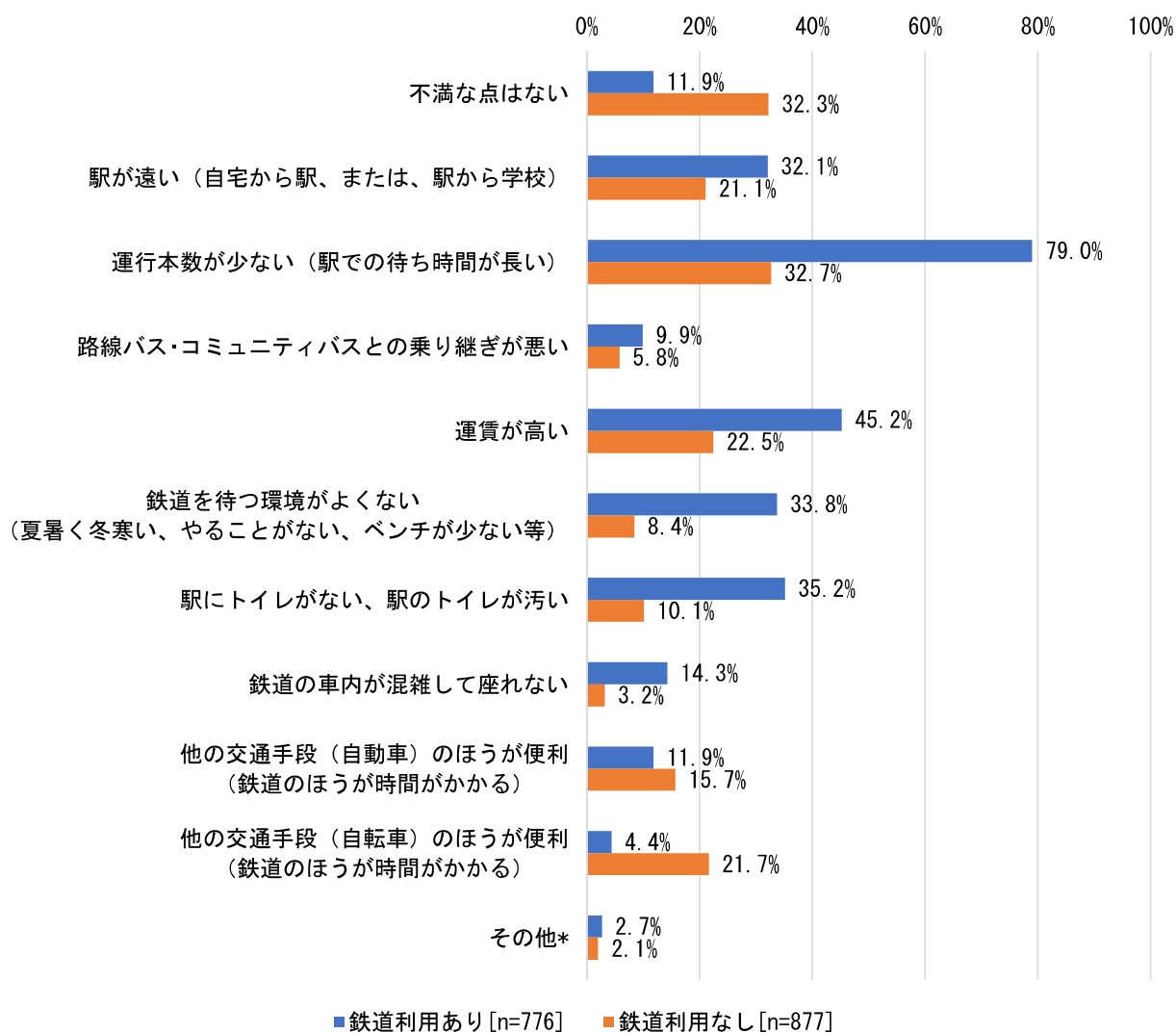
※未回答、不明を除く



## (3) 鉄道の利用で不便に感じること、鉄道を利用しない理由

通学で鉄道を利用すると回答した人が不便に感じることとしては、「運行本数が少ない」が約79%と圧倒的に多く、これに次いで、「運賃が高い」(約45%)、「駅にトイレがない、駅のトイレが汚い」(約35%)、「鉄道を待つ環境がよくない」(約34%)と続いています。

通学で鉄道を利用していない理由としては、「運行本数が少ない」が約33%で最も多く、これに次いで、「運賃が高い」(約23%)、「他の交通手段(自転車)の方が便利」(約22%)と続いています。



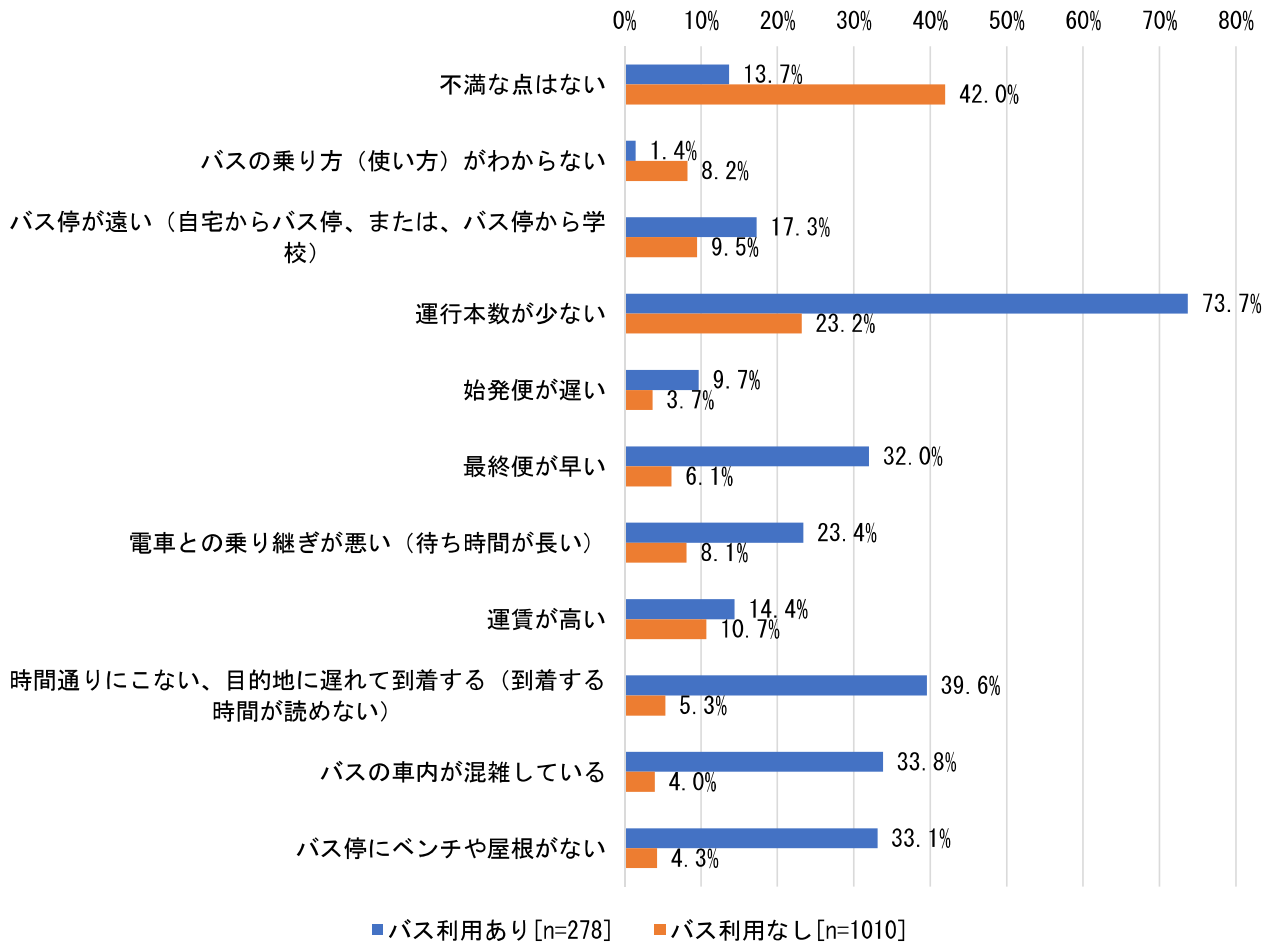
※未回答、不明を除く

資料5 ニーズ調査の結果

(4) バスの利用で不便に感じること、バスを利用しない理由

通学でバスを利用すると回答した人が不便に感じることとしては、「運行本数が少ない」が約74%と圧倒的に多く、これに次いで、「時間通りに来ない、目的地に遅れて到着する」(約40%)、「バスの車内が混雑している」(約34%)、「バス停にベンチや屋根がない」(約33%)と続いています。

通学でバスを利用していない理由としては、「運行本数が少ない」が約23%で最も多く、これに次いで、「運賃が高い」(約11%)が多くなっています。



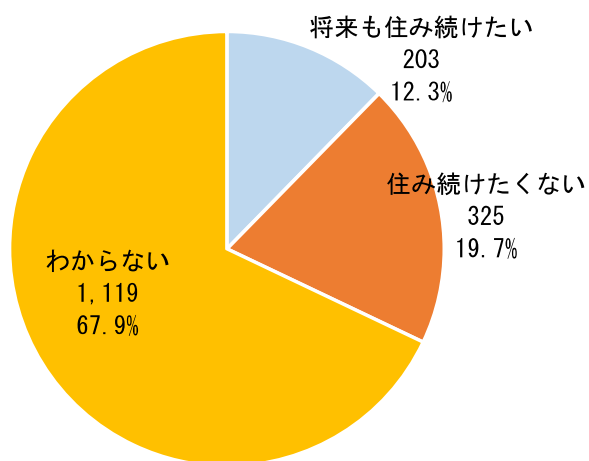
※未回答、不明を除く

## (5) 今後の居留意向

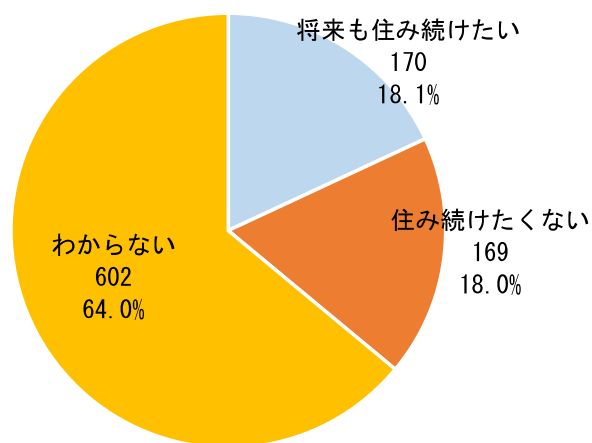
回答者の今後の居留意向については、全体では、「将来も住みたい」が約12%、「住みたくな」が約20%で「住みたくな」がやや上回っています。甲賀市在住者のみで見ると、両者とも約18%で拮抗しています。

《全体》

《甲賀市在住者のみ》



[N=1,648]

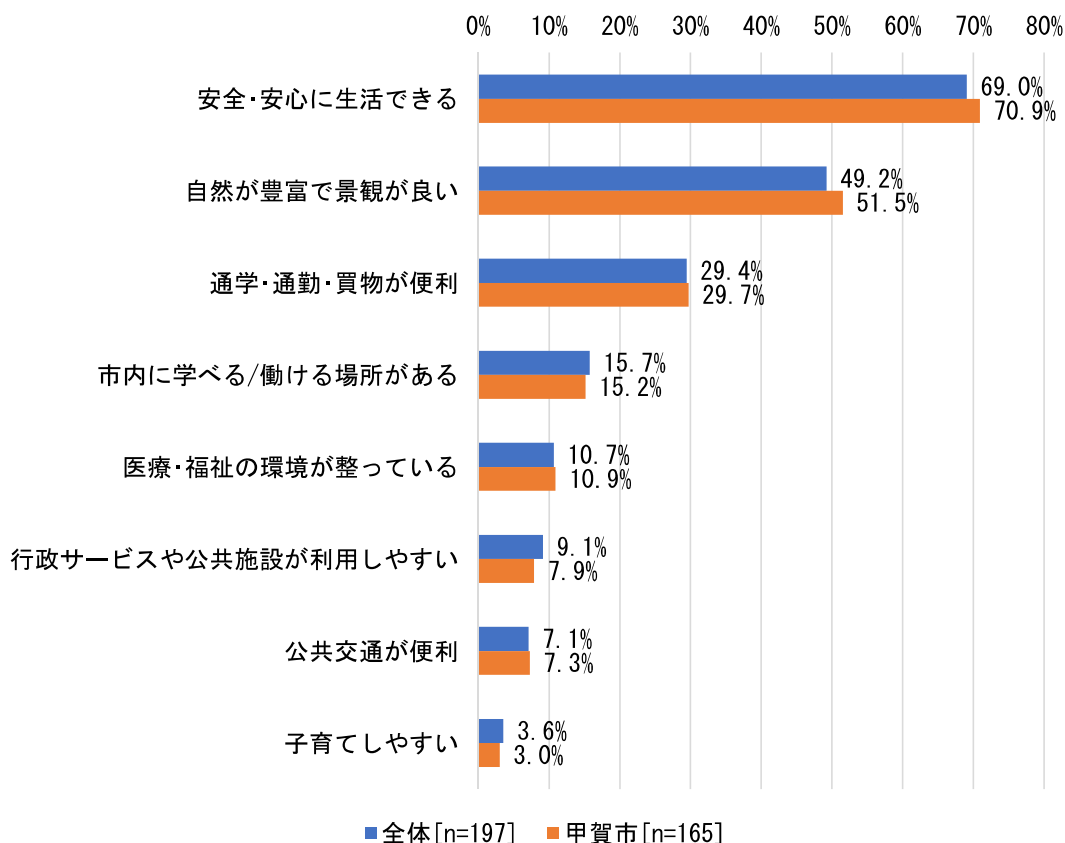


[N=941]

※未回答、不明、複数回答を除く

## (6) 「将来も住みたい」と思う理由

将来も住みたいと思う理由については、全体・甲賀市在住者とも同じような傾向となっており、「安全・安心に生活できる」が約7割で最も多く、これに次いで「自然が豊富で景観が良い」が約5割となっています。「公共交通が便利」は1割未満となっています。

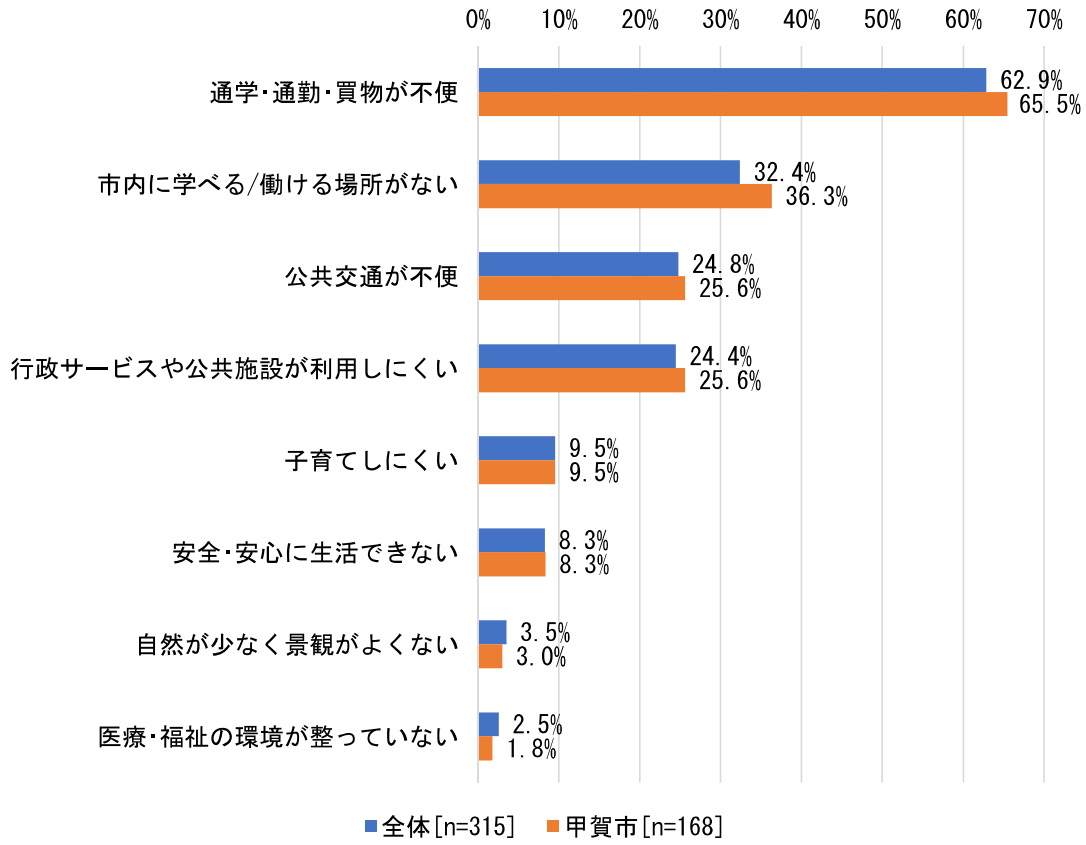


※未回答、不明を除く

資料5 ニーズ調査の結果

(7) 「住み続けたくない」と思う理由

住み続けたくないと思う理由については、全体・甲賀市在住者とも同じような傾向となっており、「通学・通勤・買物が不便」が約6割で最も多く、これに次いで「市内に学べる/働ける場所がない」が約3割、「公共交通が不便」が約25%程度となっています。



※未回答、不明を除く

## 5.3 市内への観光客の声

### 5.3.1 実施概要

#### (1) 実施概要

実施概要は、次のとおりです。

表 実施概要

項目	概要
対象	web 調査会社へのモニター登録者（※）のうち、過去5年間に甲賀市を訪問したことがある人 ※甲賀市への訪問が多いと考えられる滋賀県（甲賀市在住者を除く）、大阪府、京都府、兵庫県、滋賀県、和歌山県、東京都、神奈川県、愛知県、三重県、岐阜県の在住者
方法	web 調査会社にてモニター登録者に対して web 上で実施
期間	令和4(2022)年11月4日
有効回収数	200票
主な調査項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個人属性</li> <li>・ 甲賀市来訪時の状況（グループ、日数、目的、来訪先、交通手段）</li> <li>・ 甲賀市の交通情報の入手先</li> <li>・ 観光で来訪時に自家用車を利用する場合の不満点</li> <li>・ 観光で来訪時に公共交通を利用する場合の不満点</li> <li>・ 観光における移動に求めるもの</li> </ul>

#### (2) 実施結果概要

実施結果の概要は、次のとおりです。

- ・ 甲賀市への来訪目的としては、「買物・飲食」「町歩き・町並み鑑賞」「歴史遺産」が多い。
- ・ 観光客の移動手段は、首都圏在住者を除き、甲賀市までの交通手段・甲賀市内の交通手段ともに自家用車が多くを占める。首都圏在住者は、鉄道・バス・タクシー等の公共交通やカーシェアリングの利用比率が他地域に比べて高い。
- ・ 自動車での移動で不満を感じる人が多いが、不満を感じる点としては、ガソリン代が高いことが最も多い。
- ・ 公共交通での移動で不満を感じる点としては、自家用車が便利だからという回答が最も多く、これに次いで、目的地への便がないこと、運行間隔が長いこと、運賃が高いことが多くなっている。
- ・ 観光地の移動で重視することとして、周辺の観光情報を提供するという回答が最も多く、特に高齢になるほどそのニーズが高い。
- ・ 鉄道やバスがより便利になるアイデアとしては、企画乗車券・周遊バスなどの発行、運行本数増・ダイヤ調整、情報提供・案内充実、タクシーサービスの充実といった点を挙げる人が多い。

## 5.3.2 設問項目



設問項目等は、次のとおりです。

## 甲賀市への観光客アンケート質問項目

質問	質問内容	選択肢	回答できる 選択肢数
1	①性別	1. 男性 2. 女性	1つ
	②年齢	1. 10歳代 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代 5. 50歳代 6. 60～64歳 7. 65～69歳 8. 70～74歳 9. 75～79歳 10. 80～84歳 11. 85歳以上	1つ
	③居住地	居住する都道府県を回答（ ）	－
	④甲賀市への 訪問歴（概ね過 去5年間）	1. 訪問したことがある 2. 訪問したことがない	1つ
2	①来訪グルー プ	1. 家族と 2. 友人等と 3. 一人で 4. 旅行会社等のツアー 5. その他（ ）	1つ
	②来訪日数	1. 日帰り 2. 1泊2日 3. 2泊3日以上	1つ
3	①来訪目的	1. 歴史遺産 2. 自然鑑賞・散策・トレッキング 3. 町歩き・町並み鑑賞 4. 美術館・博物館 5. 買物・飲食 6. 行事・祭事 7. その他（ ）	あてはまる もの全て
	②主な来訪先	1. 県立陶芸の森 2. ミホミュージアム 3. 多羅尾温泉 4. 信楽窯散策路 5. 水口スポーツの森 6. 東海道士山・水口宿 7. 甲賀の里忍術村 8. 甲賀流リアル忍者館 9. 道の駅 あいの土山 10. 田村神社 11. ダイヤモンド滋賀 12. その他（ ）	あてはまる もの全て
4	甲賀市までの 交通手段	1. 鉄道（JR） 2. 鉄道（近江鉄道） 3. 路線バス 4. タクシー 5. ツアーバス 6. 自家用車 7. レンタカー・カーシェア 8. その他（ ）	あてはまる もの全て
5	甲賀市内の交 通手段	1. 鉄道（JR） 2. 鉄道（信楽高原鉄道） 3. 鉄道（近江鉄道） 4. 路線バス・コミバス・デマンドタクシー（コミタク） 5. タクシー 6. ツアーバス 7. 自家用車 8. レンタカー・カーシェア 9. レンタサイクル 10. 徒歩 11. その他（ ）	あてはまる もの全て
6	甲賀市内の交 通情報の入手 先	1. インターネット 2. ポスター・パンフレット 3. 知人から 4. 新聞や雑誌 5. 旅行業者 6. 市内の観光案内所 7. テレビ・ラジオ 8. その他 9. 特に入手しない	あてはまる もの全て
7	自家用車を利用する 場合の	1. 交通渋滞が多い 2. 目的地周辺に駐車場が少ない	最大2つ



	不満	3. 駐車料金が 高い 4. ガソリン代が 高い 5. 運転に自信が ない 6. 特に不満はな い 7. その他 ( )	
8	公共交通を利用する場合の 不満 ※利用しない人は、利用しない理由	1. 自分の行きたい目的地に行く便がない 2. 利用したい曜日に走っていない 3. 利用したい時間帯に走っていない 4. 運行間隔が長い 5. 自宅の近くに停留所がない 6. 運賃が高い 7. 目的地までの所要時間が長い 8. 自家用車の方が移動しやすい 9. バイク、自転車、徒歩の方が移動しやすい 10. その公共交通手段に乗る習慣がない 11. 運行ルートや停留所・駅を知らない 12. その公共交通手段の利用方法が分からない 13. 高齢・ケガ・病気等の理由で利用できない 14. 特に不満はない 15. その他 ( )	最大3つ
9	観光における移動に求めるもの	1. 周辺の観光情報を提供する 2. 市内の観光地を巡るような周遊バスを運行する 3. 公共交通の運行情報を入手しやすくする 4. 現在のバスの運行路線や運行本数をもっと増やす 5. 公共交通利用時のキャッシュレス決済の導入・拡大 6. その他 ( )	最大2つ
10	甲賀市の鉄道・バス・タクシーがもっと便利になる・利用しなくなるアイデア	(自由回答)	—

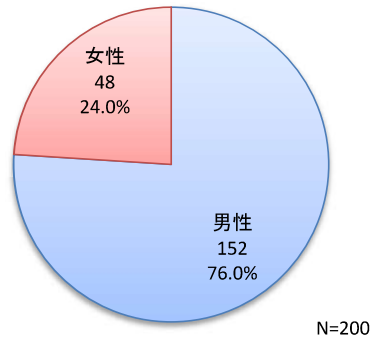
※質問2～6については、最近の甲賀市観光で訪問した観光地・交通手段等について回答して頂く。

5.3.3 結果概要



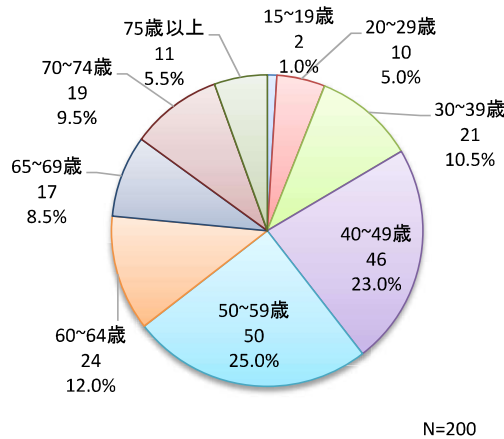
(1) 回答者の性別

回答者の性別は、男性が約 76% となっています。



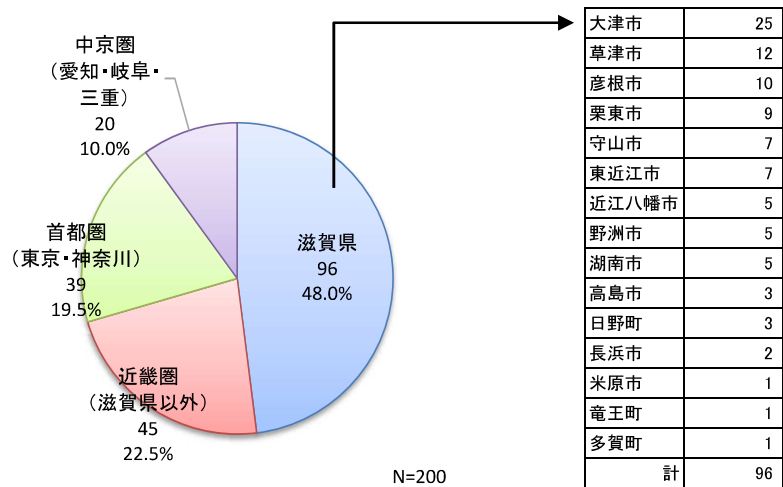
(2) 回答者の居住地

回答者の居住地は、50 歳代が約 25% で最も多くなっています。65 歳以上の高齢者は約 24% となっています。



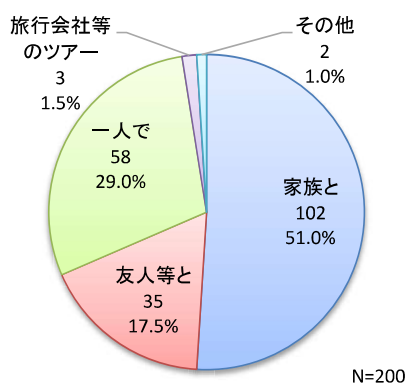
(3) 回答者の年齢

回答者の居住地は、滋賀県が約 48% で最も多く、近畿地方（滋賀県以外）が約 23%、首都圏が約 20%、中京圏は約 10% となっています。滋賀県内では、大津市、草津市、彦根市の順となっています。



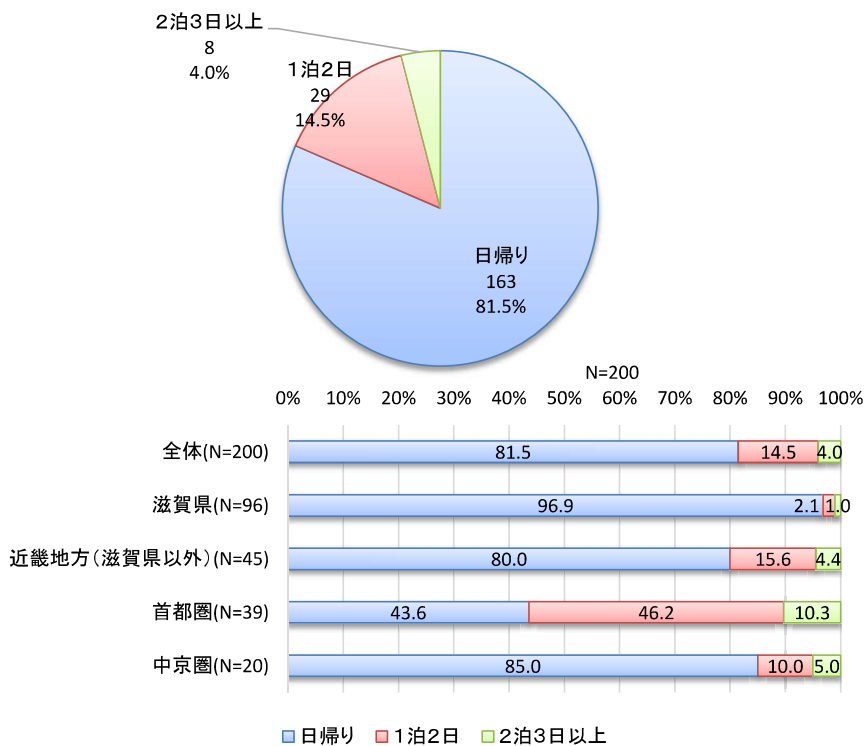
(4) 甲賀市来訪時のグループ

甲賀市来訪時のグループについては、「家族と」が51%で最も多く、これに次いで「一人で」（約29%）となっています。



(5) 来訪日数

甲賀市来訪時の来訪日数については、「日帰り」が約82%で最も多くなっています。居住地別に見ると、滋賀県在住者については9割以上、近畿地方（滋賀県以外）・中京圏在住者については8割以上が日帰り、首都圏在住者では約56%が1泊2日以上となっています。

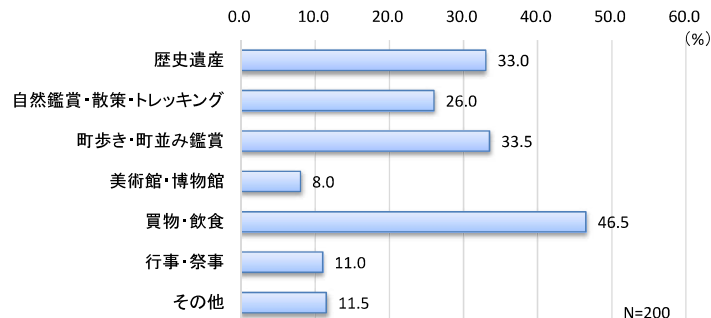


資料5 ニーズ調査の結果

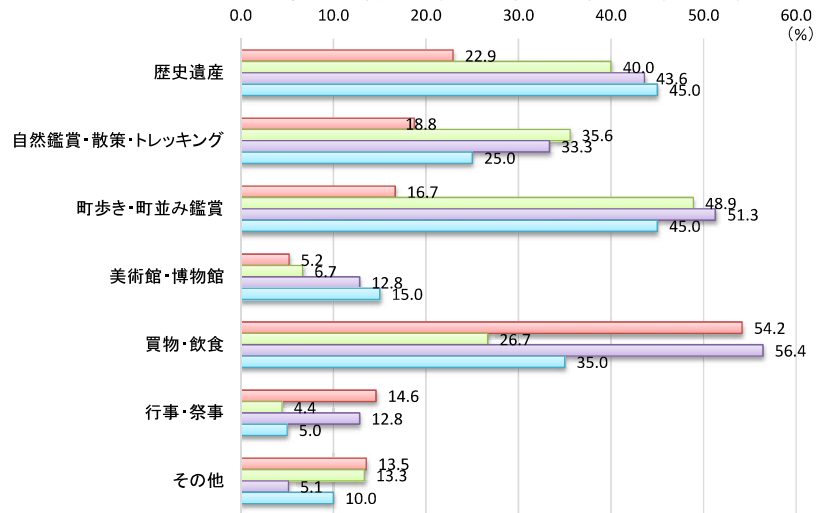
(6) 甲賀市への来訪目的

甲賀市への来訪目的については、全体では、「買物・飲食」が約47%で最も多く、これに次いで「町歩き・町並み鑑賞」「歴史遺産」が多くなっています。滋賀県在住者は「買物・飲食」、近畿地方（滋賀県以外）在住者は、「町歩き・町並み鑑賞」「歴史遺産」、首都圏在住者は「買物・飲食」「町歩き・町並み鑑賞」「歴史遺産」、中京圏在住者は「町歩き・町並み鑑賞」「歴史遺産」が多くなっています。

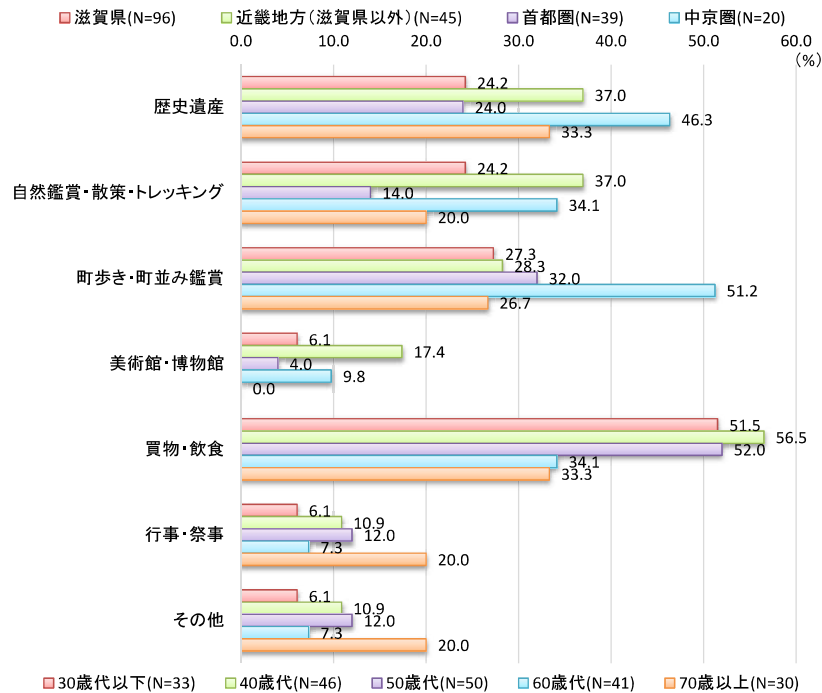
【全体】



【居住地別】



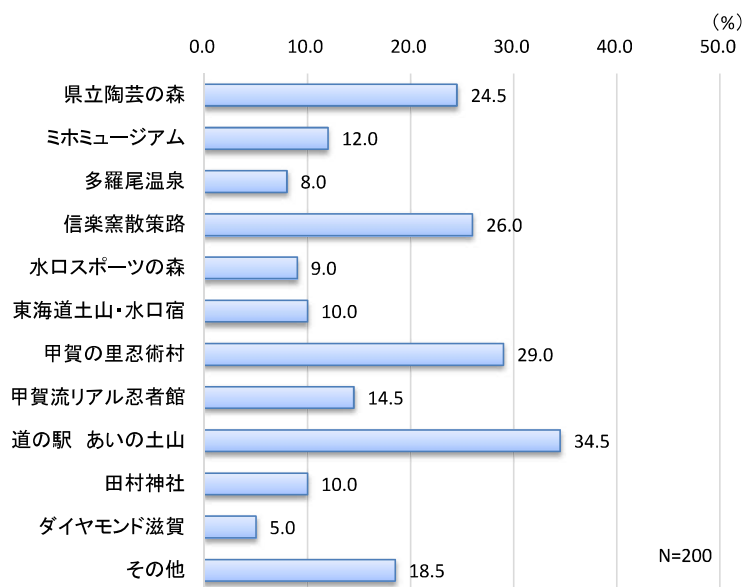
【年齢別】



※複数回答あり

## (7) 主な訪問先

主な訪問先については、「道の駅 あいの土山」が約35%で最も多く、これに次いで「甲賀の里忍術村」(約29%)、「信楽窯散策路」(約26%)、「県立陶芸の村」(約25%)となっています。

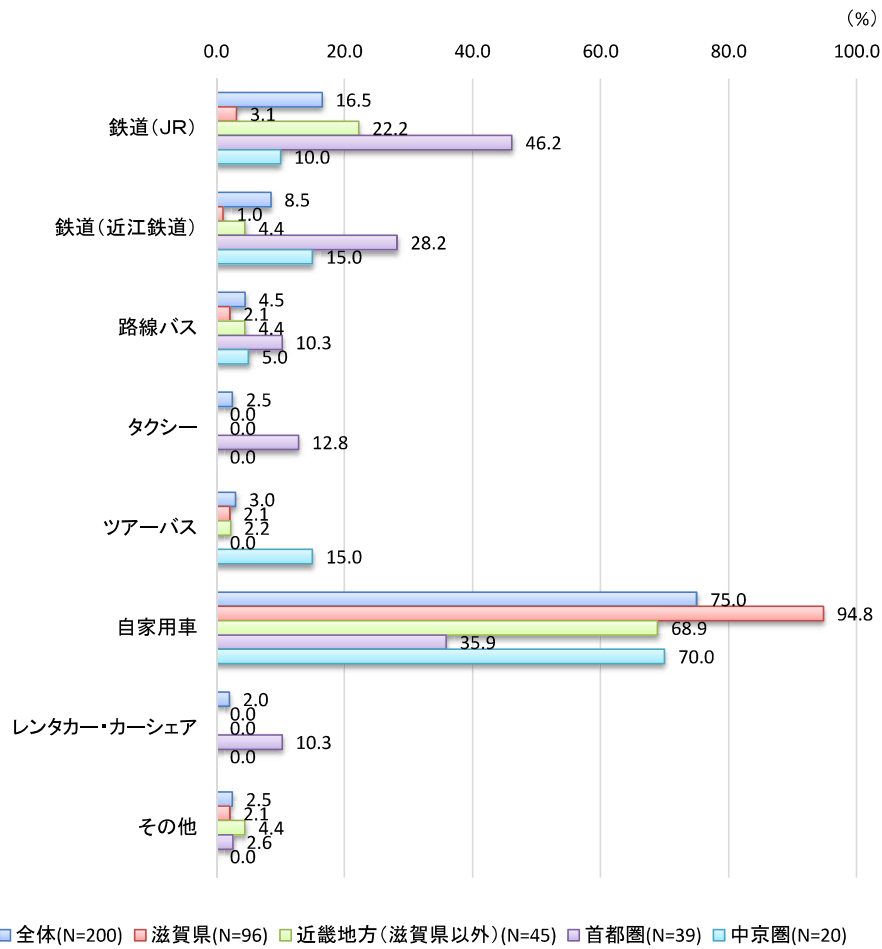


※複数回答あり

資料5 ニーズ調査の結果

(8) 甲賀市までの交通手段

甲賀市までの交通手段については、滋賀県在住者は約95%、近畿圏（滋賀県以外）・中京圏在住者は約69～75%が自家用車となっています。首都圏在住者は、自家用車が約36%である一方、鉄道（JR）が約46%、鉄道（近江鉄道）が約28%と他地域に比べやや多くなっています。

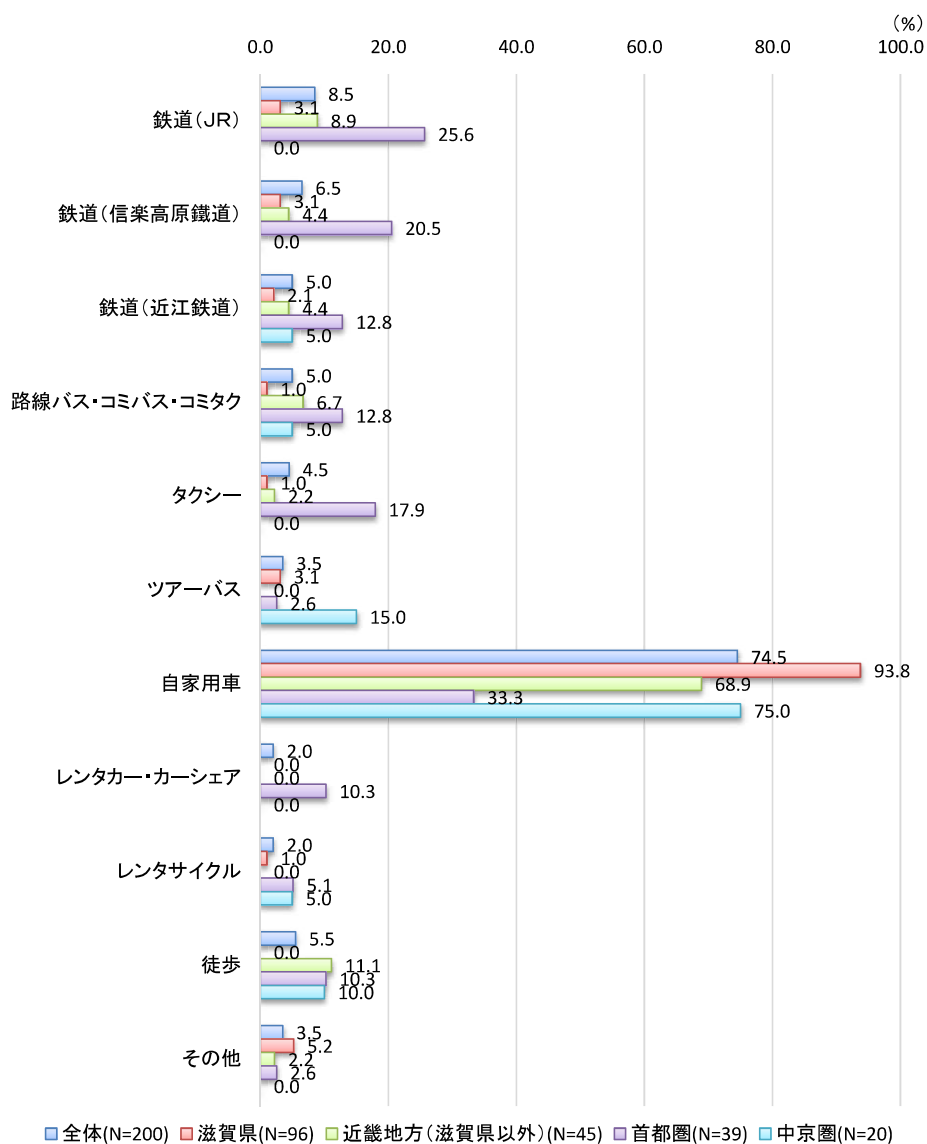


※複数回答あり

## (9) 甲賀市内の交通手段

甲賀市内の交通手段についても自動車の利用が多く、滋賀県内在住者は約94%、近畿地方（滋賀県以外）および中京圏在住者は約6~7割以上が自家用車となっています。首都圏在住者は、自家用車が約33%と低い一方、鉄道（JR）が約26%、鉄道（信楽高原鉄道）が約21%、タクシーが約18%と他地域に比べやや多くなっています。

また、路線バス・コミバス・コミタクについては、首都圏在住者で約13%、近畿圏（滋賀県以外）および中京圏在住者で約5~7%、滋賀県内在住者では1%となっています。

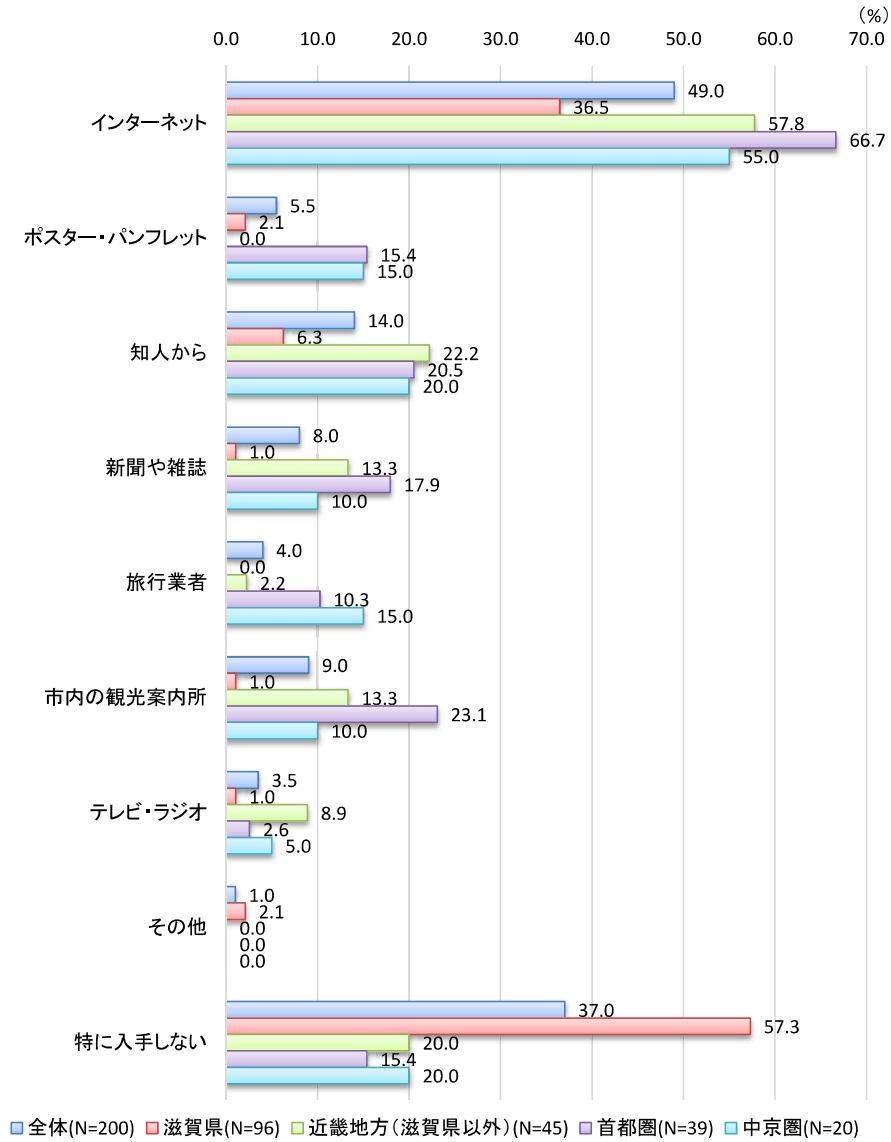


※複数回答あり



(10) 甲賀市内の交通情報の入手先

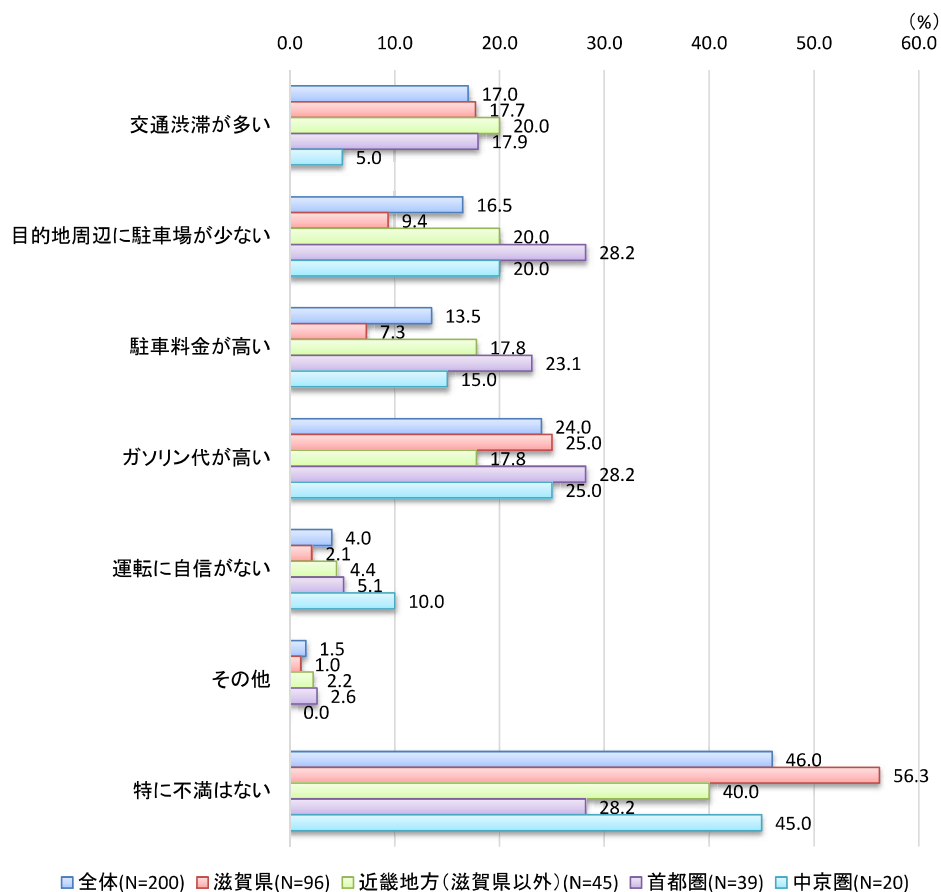
滋賀県内内在住者の約57%は「特に入手しない」としています。入手先としては、滋賀県以外の地域在住者では、「インターネット」が約6~7割で最も多くなっていますが、滋賀県以外地域在住者では「知人から」が約2割、首都圏地域在住者では「市内の観光案内所」が約2割程度となっています。



※複数回答あり

## (11) 自家用車を利用する場合の不満点

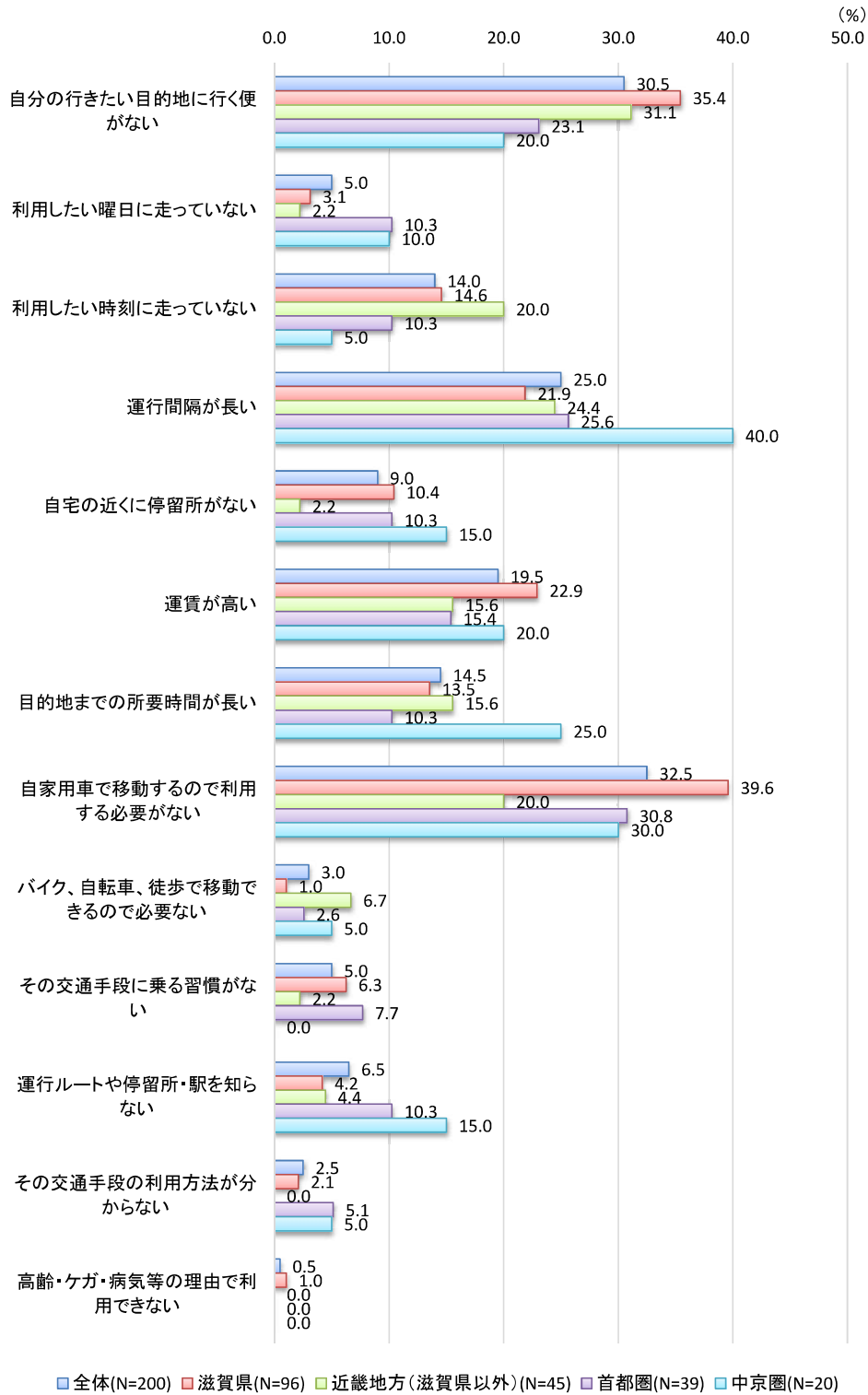
自家用車を利用する場合の不満点については、全体では「特にない」が約46%で最も多く、滋賀県内・近畿地方（滋賀県以外）・中京圏在住者で多くなっています。感じる不満として最も多いのは、「ガソリン代が高い」が約24%で最も多く、これに次いで、「交通渋滞が多い」「目的地周辺に駐車場が少ない」となっています。



※複数回答あり

(12) 公共交通を利用する場合の不満点

公共交通を利用する場合の不満点については、全体としては、「自家用車で移動するので利用する必要がない」が約33%で最も多くなっています。これに次いで、「自分の行きたい目的地に行く便がない」「運行間隔が長い」「運賃が高い」が多くなっています。



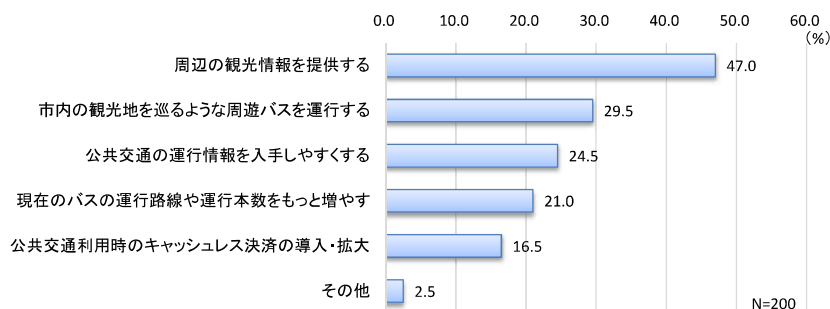
※複数回答あり

### (13) 観光地の移動において重視すること

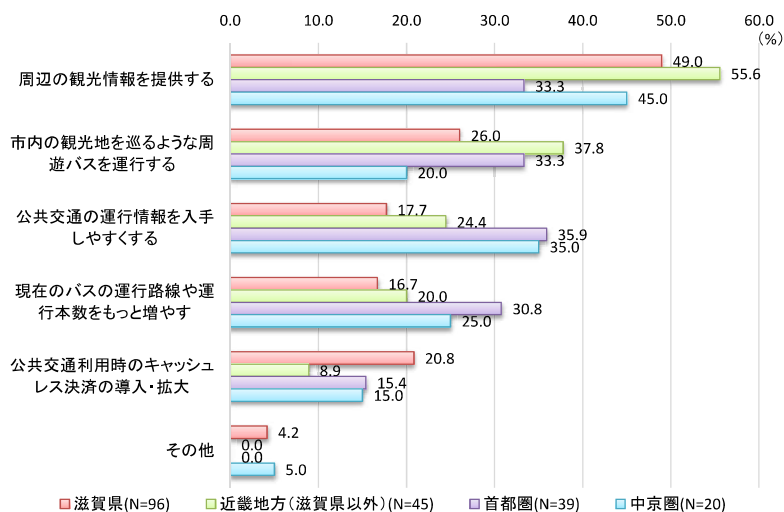
観光地の移動において重視することについては、全体としては、「周辺の観光情報を提供する」が約47%で最も多く、滋賀県・近畿地方（滋賀県以外）・中京圏在住者で多くなっています。

これに次いで、「市内の観光地を巡るような周遊バスを運行する」（約30%）、「公共交通の運行情報を入手しやすくする」（約25%）が多くなっており、周遊バスの運行に関しては、近畿地方（滋賀県以外）および首都圏在住者、公共交通情報提供に関しては、首都圏・中京圏在住者でやや多くなっています。また、年齢別で見ると、周辺の観光情報の提供については、高齢者になるほど重視する人が多くなる傾向があります。

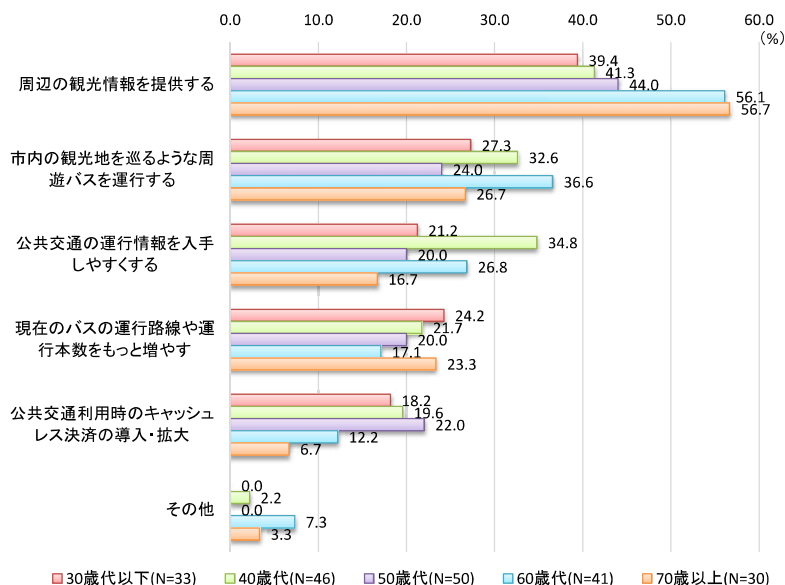
#### 【全体】



#### 【居住地別】



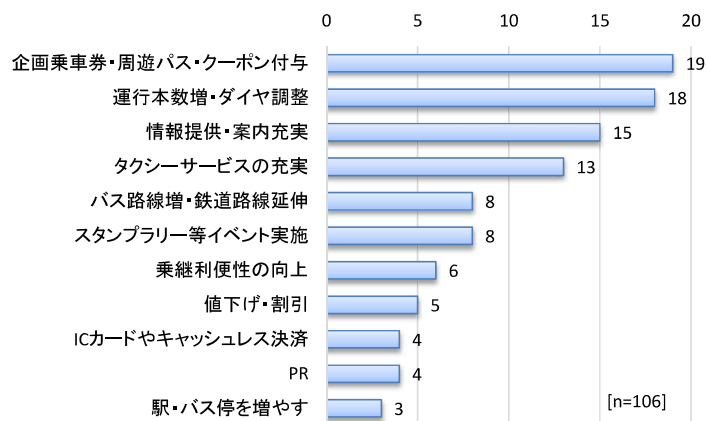
#### 【年齢別】



※複数回答あり

(14) 鉄道やバスがより便利になるアイデア・意見（自由回答）

企画乗車券・周遊パスなどの発行、運行本数増・ダイヤ調整、情報提供・案内充実、タクシーサービスの充実といった点を挙げる人が多くなっています。



## 5.4 各種団体へのニーズ調査

### 5.4.1 実施概要

#### (1) 実施概要

地域公共交通の利用者のことを良く知る福祉分野等の担当者にヒアリング調査を実施しました。実施概要は、次のとおりです。

表 実施概要

項目	概要
対象	各地域の民生委員児童委員 市社会福祉協議会 市地域包括支援センター 市地域市民センター
方法	各地域の民生委員児童委員：各地域委員の方へ、担当地域の住民へ聞き取りを依頼 市社会福祉協議会：各地域に配属されている福祉活動センター長を通じて所属職員や利用者への聞き取りを実施 市地域包括支援センター：センター長を通じて所属する各職員や担当する住民への聞き取りを実施 市地域市民センター：地域市民センター長を通じて、所属職員や地域マネージャーへの聞き取りを実施
期間	令和3(2021)年9～12月
主な調査項目	・公共交通全体について ・地域自主運行について ・コミバス・コミタクについて

#### (2) 実施結果概要

実施結果の概要は、次のとおりです。

##### ①水口地域

- ・平和堂や甲賀病院等の目的地まで、乗り換えが多く、利用しにくい、といった声が多く見られる。
- ・バス停まで遠く、また、坂道も多いため、バス停位置を再検討してほしい、といった声が複数見られる。
- ・和野中畑ルートでは、通勤通学時間帯の利用者が多く、また、その時間帯の遅延が多いため、改善してほしい、といった声が複数見られる。
- ・市街地内を走るコミタクや小型バスの導入を検討してほしい、といった声が複数見られる。
- ・運行本数の増便を検討してほしい、といった声が複数見られる。

##### ②土山地域

- ・若者と高齢者では生活スタイルが異なるため、高齢者が利用しやすいようコミタクの導入等を検討してほしい、といった声が複数見られる。
- ・高齢者向けに、バス停までの移動をサポートするサービスがあればよいと考える、といった声が見られる。

## 資料5 ニーズ調査の結果

- ・利用者のニーズにおうじたルートを再検討してほしい、といった声が見られる。

### ③甲南地域

- ・運行本数が少ないため、利便性がわるい。また、目的地までの移動手段がなく、利用できない、といった声が多く見られる。
- ・病院からの帰りの移動手段について、困ることが多い、といった声が複数見られる。
- ・コミタクの予約方法や、一般タクシーとの違いを周知してほしい、といった声が複数見られる。

### ④甲賀地域

- ・甲賀駅甲賀病院線の帰りの時間帯の運行本数を増便してほしい、といった声が複数見られる。
- ・地域自主運行を実施している地域が複数あるため、水平展開する際に参考になるのではないか、といった声が複数見られる。
- ・油日線が利用しにくいいため、路線を見直してほしい、といった声が複数見られる。

### ⑤信楽地域

- ・商業施設等へのアクセスが悪く、利用しづらい、といった声が多く見られる。
- ・地域のニーズに合わせて、コミバスとコミタクを柔軟に組み合わせた運行体制を検討してほしい、といった声が複数見られる。
- ・地域自主運行の導入に対する支援等の実施を検討してほしい、といった声が見られる。



## 5.4.2 調査物件

調査票等は次のとおりです。

### 市内公共交通網の見直しにかかるニーズ調査の協力依頼について

本市では、令和4年度・5年度にかけ、市内公共交通網の大幅な見直しを計画しております。つきましては、見直しを実施するにあたり、利用者や地域のニーズを把握する作業を進めております。当課におきましても、区や自治会からの要望や議会での一般質問等で公共交通、主にコミバスの運行などに対して様々なご意見をいただいているところです。

さらに、皆様が各分野で感じておられることや地域の方々から市公共交通網や移動手段に対する意見や要望についてお聞きされている内容を調査したいと考えております。

公私何かとお忙しい中ではございますが、ご協力よろしくお願いいたします。

#### ① 見直しを行う目的について

本市では、利用者の少ないコミバス路線をデマンド(予約型)タクシーに転換するなど市内交通網の改善を行ってまいりました。

しかし、以下の理由により、現計画を発展させたさらなる対応が必要となっていることから、令和4年度と5年度にかけて新たな再編を実施いたします。

##### (新たな再編が必要な理由)

- ・コロナ禍による公共交通機関の利用者減少を踏まえた新しい対応が必要となるため
- ・市民が豊かさを感じ、健康で暮らせる社会への一助となる交通網を目指すため
- ・高齢化によるニーズの多様化への対応とそれらに必要な費用の確保を行うため
- ・市内公共交通網を持続させていくために経費を抑制させるため
- ・低炭素社会を目指し、今まで利用していない層にも幅広く利用していただくため

#### ② スケジュールについて

まずは、今年度末までに地域の方々のニーズ調査や利用者聞き取り調査、鉄道やコミバスを補完する取り組みの実証を行い、令和4年度に具体的な見直し計画を作成します。

#### ③ ニーズ調査について

想定している調査方法は以下のとおりです。

- ・建設部職員による乗車聞き取り、OD(乗降調査)、現地調査を行う
- ・バス車内に設置した乗降センサーによるバス停ごとの乗降人数調査を行う
- ・過去に区・自治会、議会、利用者などから要望があった地域への聞き取り、現地調査を行う
- ・市職員や関係諸団体への聞き取り調査を行い、その結果により、該当地域への詳細な聞き取りや現地調査を行う

#### ④ 協力をお願いしたい内容について

別紙様式を参考の上、以下の内容にご協力願います。

- ・まちづくり活動や福祉活動に取り組んでおられる地域リーダーの紹介
- ・ニーズ調査にご協力いただける地域や団体の紹介(区・自治会や自治振興会のほか高齢者サロンなど)
- ・皆様が感じておられることや地域の皆様からの移動手段に対する意見や要望について

本件担当:公共交通推進課 村田、中村 69-2215(内 2122)

### 市内公共交通網にかかる聞き取り調査

報告担当者	所属	氏名	TEL
① 適宜ページ追加等お願いします。(行、列追加はしないでください。)			
地域		路線名(わかる場合)	
内容			
根拠			
処理欄	(当課が記入します)		

## 5.3.3 結果概要



(その1)

報告者地域	内容	
甲賀	コミバス	バス路線が利用しにくく、送迎に区長などがしているケースを聞く
甲賀油日	コミバス	甲賀駅甲賀病院線を増やしてほしい。帰りが使いにくい
甲賀油日	コミバス	バス路線で利用しないのではなく、利用できない
甲賀油日	コミバス	油日線の復路が往路と一緒にしているので利用しにくい。
甲賀油日	コミバス	地域市民センターに行けない。
甲賀大原	コミタク	甲賀町もデマンドバスを導入してほしい。
甲賀大原	コミバス	通学補助の対象を検討してほしい
甲南	コミタク	コミタクバス停が時刻表で分かりにくい
甲南	コミタク	甲賀町の医院に行きたいがいけない
甲南	コミタク	特に病院で、帰宅時間がわからない場合に予約がしにくい。
甲南	地域自主運行	移動支援されているが、担い手不足。
甲南希望ヶ丘	コミバス	希望ヶ丘水口線の本数が少なく利用しづらい
甲南第一	コミタク	コミタクでは、水口に行けないので、せめてバス路線に接続希望
甲南第一	コミタク	コミタクでは、甲賀病院までの直通はあればよい
甲南第一	コミバス	甲賀病院、市街地へ乗り換えなしの直通便が不便
甲南第一	コミバス	バス停数も本数も少ないので、コミタクを導入してほしい。
甲南第一	コミバス	バスを使いたい为本数も少なく利用できない
甲南第一	コミバス	バスの本数が少なく不便。コミタクを入れてほしい
甲南第三	コミタク	特に病院で、帰宅時間がわからない場合に予約がしにくい。
甲南第三	コミタク	バス停を増やしてほしい
甲南第三	コミタク	コミタクを19時代もしてほしい
甲南第三	コミタク	甲賀町のスーパーに行きたい
甲南中部	コミタク	予約方法の周知を。コミタクと一般の違いをしっかりと伝える必要
信楽	公共交通全体	SKRがあるからコミバス、コミタクがない。ないなら無料制度を適用
信楽	公共交通全体	乗り換えが多く行きにくい
信楽	公共交通全体	通いの場を紹介したいが移動手段がない
信楽	公共交通全体	病院、平和堂へのアクセスが地域により生きにくい
信楽	コミバス	行きは平和堂に行きやすいが、帰りの便が少ない
信楽	コミバス	地域によっては平和堂に行きにくい。
信楽	コミバス	朝夕はコミバスで、昼はコミタクにできないか。
信楽	コミバス	街中の方の移動が不便(バスがなく坂も多い)
信楽	地域自主運行	現在、自主運行を検討している。その際、少しでも支援金がほしい
土山	公共交通全体	地域で支援できるシステムを作ってほしい
土山	コミバス	バス停まで遠く利用が不便。コミタクを入れてほしい
土山	コミバス	バス停まで急坂でいけない高齢者がいる。平たんな場所で乗降したい
土山	コミバス	高齢者でバスを使えない人の場合コミタクの方が便利が良い。
土山	コミバス	団地の中に入ってもらえないので、バス停まで遠い
土山	コミバス	介助者やサービスしてくれる業者などがあればバス利用が進む
土山	コミバス	バス停に駐車場がない。市民センターまで停めに行かないといけない
土山	コミバス	土山本線で貴生川駅の接続を改善してほしい
土山大野	コミバス	低床バスを導入してほしい
水口	公共交通全体	公共交通が不便で運転免許を返納できない
水口	コミタク	自宅まで送迎してほしい

## (その2)

報告者地域	内容	
水口	コミタク	伴谷の医者へ行きたいがいけない
水口	コミタク	平和堂や甲賀病院、市街地へ乗り換えなしでいけない
水口	コミタク	コミタクエリアを拡大してほしい
水口	コミタク	病院をバス停に追加してほしい
水口	コミタク	予約方法を当日にしてほしい
水口	コミバス	バスの本数が少ない
水口	コミバス	坂がきつくバス停までの移動がきつい
水口	コミバス	待合が寒い。囲い、上屋が必要
水口	コミバス	小型バスを運行してほしい
水口	コミバス	医院送迎と協定しては
水口	コミバス・コミタク	無料を70以上にできないか
水口	地域自主運行	デイの運転手や主婦などが空いた時間に運転できないか
水口	地域自主運行	自主運行がなくなり困っている
水口綾野	コミタク	コミタクや小型バスを巡回できないか
水口綾野	コミバス	学区にバス停が少ない
水口綾野	コミバス	甲賀病院へ行けない
水口綾野	コミバス	バス停まで遠い
水口綾野	コミバス	メイン道路をバスが運行しているため、街中でコミタクがない
水口綾野	コミバス・コミタク	無料券を郵送できないか
水口岩上	コミバス	慢性的な遅延がある
水口岩上	コミバス	和野中畑ルート通学便の改善
水口岩上	コミバス	バスの横にも行先表示をしてほしい
水口岩上	コミバス	時刻表が見にくい。地域版が欲しい。
水口岩上	コミバス	メイン道路をバスが運行しているため、コミタクがない
水口貴生川	コミタク	身体が不自由であるため、その停留所へ行けない
水口貴生川	コミタク	特に病院で、帰宅時間がわからない場合に予約がしにくい。
水口貴生川	コミバス・コミタク	甲賀病院へ行く場合、貴生川駅乗り換えが不便
水口伴谷	コミバス	バス停までが遠い
水口伴谷	コミバス	JA や郵便局、市民センターまで行けない
水口伴谷	コミバス	小型バスを運行してほしい

## 5.5 区・自治会からの要望調査



### 5.5.1 実施概要



#### (1) 実施概要

地域公共交通の利用者のことを良く知る福祉分野等の担当者にヒアリング調査を実施しました。実施概要は、次のとおりです。

表 実施概要

項目	概要
対象	各区・自治会
方法	各区・自治会へ調査票形式による要望聞き取り調査を実施
期間	平成30年～令和4年
主な調査項目	・公共交通に対する要望について

#### (2) 実施結果概要

実施結果の概要は、次のとおりです。

- ・コミタクエリアの拡大や停留所の新設を望む声が多く見られる。
- ・コミバスの運行本数の増便を望む声が複数見られる。
- ・通学用路線の新設、延伸を望む声が複数見られる。
- ・バス停留所における待合環境の改善を望む声が多く見られる。



## 5.5.3 結果概要



結果概要は次のとおりです。

年度	要望区の学区	要望内容
R 4	甲南第三	地域にコミタク停留所新設と既存停留所の移設要望
	甲南第一	地域にコミタク停留所新設と既存停留所の移設要望
	信楽	地域にコミタク停留所新設
	水口柏木	地域にコミタク停留所新設
	信楽	地域にコミタク停留所新設と既存停留所の移設要望
	甲賀大原	小学生が通学時に利用する停留所の安全対策
	水口柏木	地域にコミタク停留所新設
	土山	高速バス路線の維持、利便性向上について
R 3	甲賀大原	通学路線の延伸（低学年対応）
	多羅尾	バス停留所を新設
	希望ヶ丘	バス停にベンチ等を設置
	甲南第三	コミタクのエリア拡大
	土山	高速バス路線の維持、利便性向上について
	信楽雲井	コミタクのエリア拡大と新規導入
	水口	水口デマンドバスの改善
	水口	バス路線の新設
	信楽	バス路線の維持とコミタクの新規導入
	水口伴谷	バス停に街灯の設置
R 2	水口	水口デマンドバスの改善
	甲南第一	コミタク停留所の新設
	希望ヶ丘	バス停位置の移動
	水口	水口デマンドバスの改善
	甲賀大原	通学バスの新規運行（低学年対応）
	土山大野	バス停の名称変更
	信楽	コミタク停留所の新設
	雲井	コミタクのエリア拡大と新規導入
	水口柏木	バス停の位置移動
	水口	コミバス路線の運行本数の増加と延伸
	甲南中部	コミタク停留所を新設
	水口伴谷	バス停の移動
	甲賀油日	バス停標柱の破損修繕
R 1	甲賀油日	バス停の新設
	甲南第三	コミタク停留所の名称変更
	甲南第一	コミタク停留所を新設
	水口	水口デマンドバスの改善
	甲南中部	コミタク停留所の新設
	甲南中部	コミタク停留所を新設
	甲南伴谷	バスルートの改善とバスの本数増加
	土山山内	バスの本数増加
	土山大野	バス停に雨風を凌げる待合所の設置
	水口伴谷	新規路線の運行
	水口貴生川	新たなバス停の設置
	甲賀佐山	バス停移設後の待合所新設
	水口	貴生川駅の鉄道やコミバスを利用しやすい環境整備
	水口	快適で乗りやすい車両導入
	水口	中央公民館バス停にベンチや屋根を新設
	水口	新規路線の新設
	水口	草津線の複線化に向けた取り組みの実施
	水口	バス停増設や低床バス導入による利便性向上
	水口	乗り合いタクシーや地域自主運行を活用した移動手段の確保
	甲賀佐山	通院時間に合わせた時刻改善、ルート改善
	甲南第一	コミタクの新規導入
	水口柏木	コミタク停留所を新設
	甲南第三	コミタク停留所の移設
水口貴生川	コミタク停留所の移設	
H30	甲賀大原	甲賀地域へのコミタク導入
	希望ヶ丘	バス経路の変更とバス停留所の移動
	甲南第一	バス停の移動
	甲南第一	コミタク停留所を新設
	甲南中部	コミタク停留所の新設
	雲井	コミタクのエリア拡大と新規導入
	朝宮	バス路線の延長、土日祝の運行
	水口岩上	バス待合所の改修について
	水口柏木	コミタク停留所新設
	土山大野	バス停に雨風を凌げる待合所の設置



---

## 甲賀市地域公共交通計画

発行年月 : 令和 5(2023)年 月

編集・発行 : 甲賀市・甲賀市地域公共交通活性化協議会

事務局 : 甲賀市 建設部 公共交通推進課

〒528-8502 滋賀県甲賀市水口町水口 6053 番地

---